

# 教育委員会

## 1 佐賀市教育振興基本計画－第三次佐賀市教育基本計画－

佐賀市教育委員会では、佐賀市ならではの教育施策を進めていくためには、0歳から義務教育修了時の15歳までの「子どもの育ち」を念頭に入れた中期的な視点で教育の方向性を定める必要があるとの認識のもと、平成18年3月、初めての中期的な計画（5年間）である「第一次佐賀市教育基本計画」を策定した。

その後、平成23年4月、「第二次佐賀市教育基本計画」を策定して、将来を展望した教育施策を総合的に推進してきた。

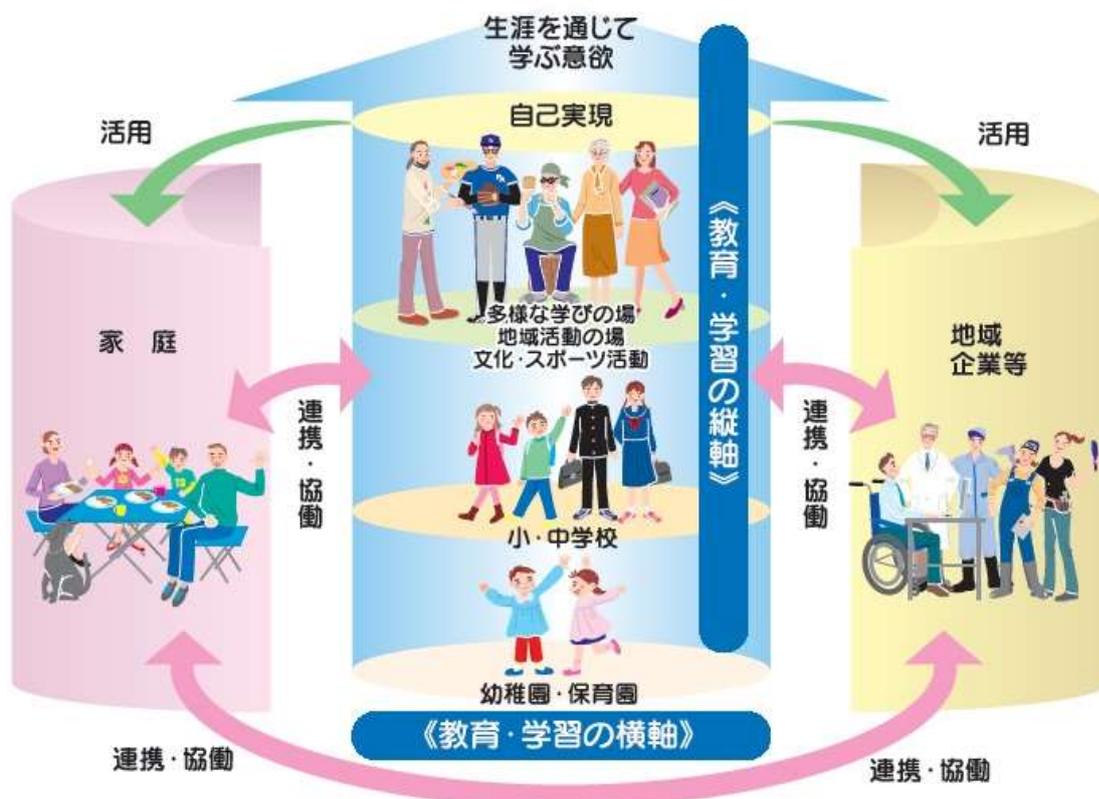
平成26年度で「第二次佐賀市教育基本計画」が最終年度となることから、これまで実施した様々な成果と課題を検証した上で、上位計画である第2次佐賀市総合計画を踏まえながら、佐賀市の教育行政の基本的な方向性を示す「佐賀市教育振興基本計画－第三次佐賀市教育基本計画－」を策定し、今後5年間の取組を推進していく。

### (1) 佐賀市教育振興基本計画の「基本目標」「基本方針」

**基本目標** ふるさと「さが」を協働でつくる個性と創造性に富む人づくり

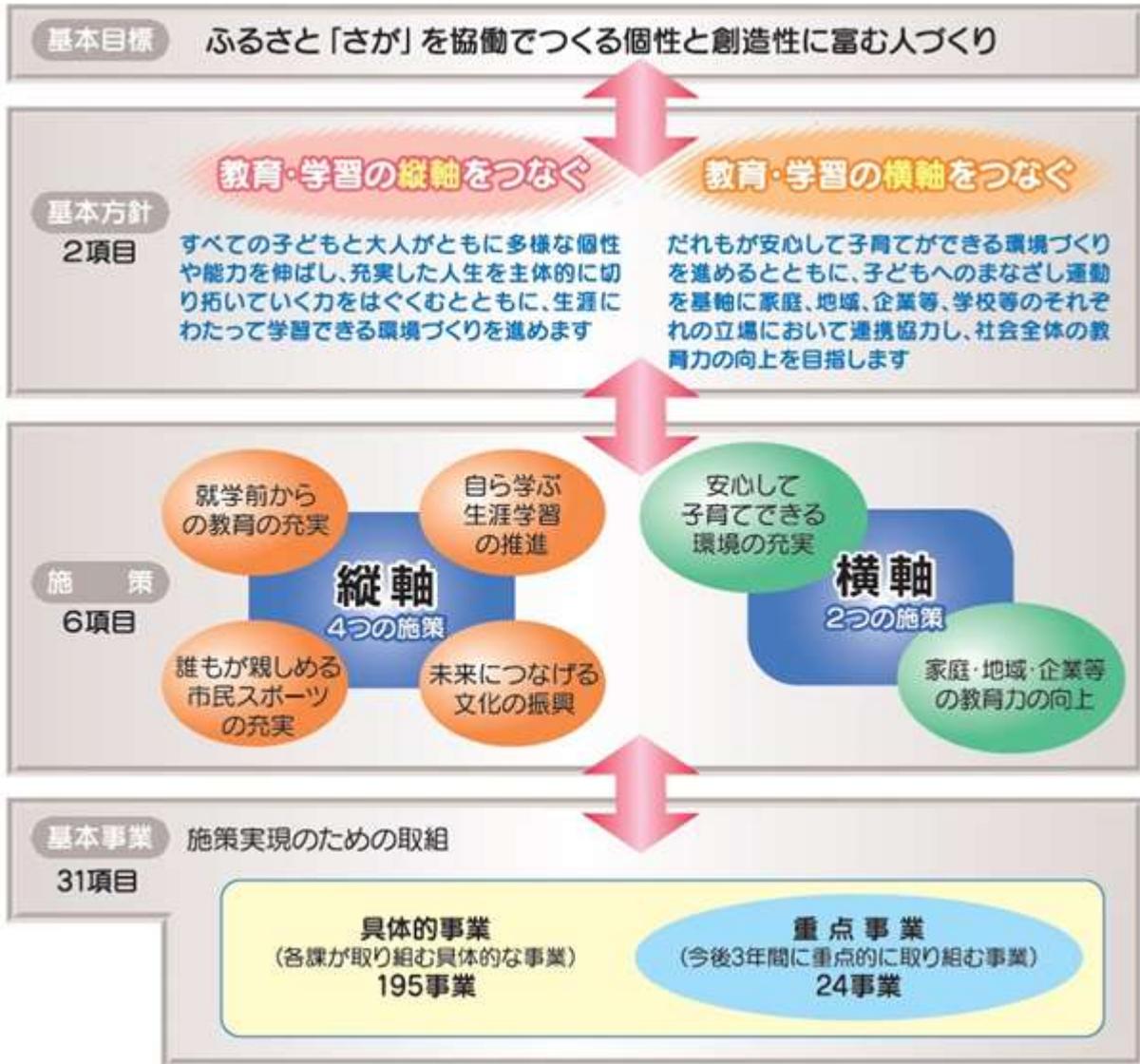
**基本方針** ◇教育・学習の縦軸をつなぐ

◇教育・学習の横軸をつなぐ



## (2) 佐賀市教育振興基本計画の「施策の展開」

佐賀市教育委員会では、基本目標に掲げる『ふるさと「さが」を協働でつくる個性と創造性に富む人づくり』を実現するため、「教育・学習の縦軸をつなぐ」、「教育・学習の横軸をつなぐ」という2つの基本方針を設定し、その基本方針を達成するために6項目の「施策」を掲げ、体系的に施策を展開していくことにより、基本目標の実現を図る。



## 教育長

役職名	氏名	職業	就任年月日	委員現任期
教育長	東島 正明	元教育長 (旧制度)	H29. 11. 5	H29. 11. 5 H32. 11. 4

※任期 3 年で再選されることができる。

## 2 教育委員

役職名	氏名	職業	就任年月日	委員現任期
委員 (教育長職務代理者)	伊東 健児	元会社役員	H24. 11. 5	H28. 11. 5 H32. 11. 4
委員	山口 美恵	保護者	H26. 11. 5	H26. 11. 5 H30. 11. 4
委員	田口 香津子	短期大学教授	H27. 11. 5	H27. 11. 5 H31. 11. 4
委員	片岡 優理	弁護士	H28. 11. 5	H28. 11. 5 H32. 11. 4
委員	堤 和義	学校法人 事務長	H29. 11. 5	H29. 11. 5 H33. 11. 4

※任期 4 年で再選されることができる。

### 3 就学後からの教育の充実

#### (1) 義務教育の充実 5-2

##### ① キャリア教育推進事業

現行教育課程で重視されている小学校における商業体験（キッズマート）や職業教育、中学校における職場体験を通じた職業観教育や進路学習などの「キャリア教育」の充実を図るための支援を行う。NPO法人と連携し、学校におけるカリキュラム作成や、商業体験、職場体験における地域企業とのコーディネートを行い、キャリア教育を支援する。

平成 28 年度実践校	キッズマート	勸興小、循誘小、神野小、松梅校（小）
	職場体験	成章中、城南中など 18 校（10 校）※
	インタビュー	赤松小、北川副小、春日小、新栄小、諸富南小

※（ ）内は、特定非営利活動法人鳳雛塾の直接支援校数

##### ② A L T の活用推進

中学校については、外国語指導助手（A L T）を配置し、生徒が英語を母国語とする者、または同等の能力を有する者から直接語学指導を受けて、生きた英語を学ぶ。また、小学校では、5・6年生の外国語活動において直接語学指導を受けて、国際理解教育に役立てる。

##### ③ 各種大会出場助成

学校教育の一環として行っている部活動等で全国及び九州規模の各種大会に出場する児童生徒に対し、遠征費用の一部を補助金として交付し、保護者の負担軽減と競技力・技術力の向上を図る。

##### ④ 早稲田・佐賀 21 世紀子どもプロジェクト

早稲田大学との連携により、21世紀の日本を担う人材の育成を図る。  
市内在住の中学生を対象とした出前講座や教職員講座、大隈重信をテーマにしたスピーチコンテスト等を開催することにより、子どもたちが大隈重信やふるさと佐賀への理解を深め、郷土の良さを見直す機会や、教職員の資質向上の機会を提供する。

##### ⑤ 支援指導員派遣事業

様々な理由により子どもの教育に支障をきたす教員を抱える学校へ市費の臨時職員（教員免許を持つ者）を派遣し、子どもの指導の補助にあたらせる。

##### ⑥ 学校問題解決サポート事業

教育委員会で学校問題解決サポート事業体制を整備し、関係機関や専門分野と連携して、学校問題（問題行動・いじめ・不登校・体罰・トラブル等）の未然防止・対策・解決を図る。また、スクールサポーター（警察官OB）を学校に配置し、児童生徒の相談・指導を行う。

##### ⑦ 学校災害共済・賠償補償保険給付事業

（独）日本スポーツ振興センター共済給付制度（児童生徒対象）及び全国市長会学校災害賠償補償保険に加入することにより、学校におけるケガや事故に備え、学校教育、学校業務の円滑な推進を図る。

##### ⑧ ふるさと学習支援事業

佐賀市を学ぶ「ふるさと学習」を支援することを目的とし、バス借り上げにかかる費用

を助成する。子どもたちに豊かな自然や文化的・歴史的遺産を体験できる機会や先人にまつわる施設・名所を見学する機会を提供することにより、ふるさとを愛し佐賀を誇りに思う心をはぐくむ。

⑨ 環境教育の推進（主管：環境政策課）

小中学校における環境教育を推進するために、各学校の環境教育の情報交換を支援する。

⑩ 学校版環境 I S O の取り組み（主管：環境政策課）

児童生徒と教職員が環境について考え、環境保全を実践し、環境にやさしい学校マネジメントシステムを目指す取り組みを行う。

平成 14 年度に佐賀市と佐賀市教育委員会が設けた「学校版環境 I S O 制度」により、各学校が独自に作成した実行計画をもとに取り組む。

⑪ 学校経営方針の明確化と学校運営の改善

個性を活かした特色ある開かれた学校づくりを推進するため、各学校では、教育目標を分かりやすく示すとともに、より具体化した教育計画の策定に努める。教育目標を具現化するために、各学校では、学校運営組織の見直しに取り組み、組織としての機能の充実に努める。

また、各学校の経営方針や教育活動を保護者や地域の方々に十分に理解していただくために、平成 14 年度から学校毎にパンフレットを作成し、配布している。

⑫ 到達度等調査研究事業

市立小学校の児童の学習到達度や学習状況等を調査・分析し、指導法改善や児童理解に活かす。また、児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と学級経営の方針を把握できる標準化された心理テストを実施し、学級経営に役立てることで学力向上の取り組みを行う。

⑬ 教育委員会マネジメント事業

教育委員会が、教育行政のリーダーシップをとるための体制づくりを行う。また、教育行政への理解と関心を高めるために教育情報の提供の充実を図る。

⑭ 小中学校のマネジメント支援事業

学校の独自性を高める教育活動に関わる事業について学校長からの申請を受け付け、申請に基づいて教育長が査定を行い、学校長の目標とする特色ある学校運営に資すると認められたものについて事業費を配分し、各学校が申請内容に沿った事業を実施する。

[申請事業の主な内容]

- ◇ 学校目標の実現のための学校の強みの強化、弱みの補強を図る事業
- ◇ 学校経営方針に基づき、一定の期間計画的に実施することで特色化を図る事業
- ◇ 全国学力・学習状況調査などの結果をもとに取り組む、学力向上を図る事業
- ◇ 地域との連携による地域に開かれた特色ある学校づくり又は地域人材を活用した授業や活動を行う事業
- ◇ 小中連携事業に係る経費を支援するもの

⑮ 学校評議員等活用事業

学校の教育課題や教育活動について、保護者や地域住民等の意向を把握し反映させるため、赤松小、北川副小、城南中には、各校 10 名程度、松梅校には 15 名の「学校運営協議会委員」を、他の 45 校（芙蓉校、北山校、三瀬校は小中合同で配置）においては、原則として各校 5 名の「学校評議員」を選び、教育委員会が委嘱する。学校では、校長が年 3

回程度、学校評議員の意見を反映させるための会議の開催や、個別に意見を述べてもらう場を設定する。また「学校関係者評価」の評価者として、学校自己評価に対する意見や改善策等を述べてもらい、今後の学校運営に活かすとともに、学校と地域・保護者をつなぐ役割を担う。

⑯ 学校外部評価システムの充実

校長、教職員、児童生徒、保護者による自己評価に加えて、保護者、地域住民、学校評議員等による学校関係者評価を全校で実施し、評価を生かした信頼される学校づくりを目指す。

⑰ 教育委員会の評価制度

教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、評価委員会を設置し、教育委員会による自己評価に加え、評価委員会による第三者評価を行い、事業の継続的な改善を図っていく。（佐賀市教育委員会では平成 19 年度事業実施分から毎年実施している。）

また、教育政策市民満足度調査結果を施策に反映させることで、市民の意見を反映した教育施策を進めていく。

⑱ 学校事務改善事業

教員の事務負担を軽減することで、学校経営管理時間を創出し教育の質の充実を図ることを目的に、学校事務共同実施協議会を設置し市内 10 ブロックで学校事務の共同実施を行う。また、学校事務や教育活動を円滑に進めるための支援をする。

⑲ 教科等研究会研究委託事業

本市教育における課題解決のために、学校内の研修だけでなく、学校を超えて各教科等部会を組織する。そしてそれぞれの教科で学習指導要領の趣旨を踏まえた喫緊の教育課題について研究テーマを設定し、事例研究や授業研究会を実施して研究協議を行い、指導方法の工夫・改善及び指導内容の充実を図るなど、学校教育の一層の充実を図る。

⑳ 研究指定校委嘱事業

本市教育の推進に関する研究を学校に委嘱し、教育課題の解明に努め、本市教育の発展を図る。佐賀市研究委嘱校の指定（原則 2 年間）を行い、その成果を研究発表等で広く公開する。また、国や県の研究指定も併せて行い、教職員のより一層の資質向上を目指す。

㉑ 佐賀市教育研究所運営事業

教育界の動向及び児童生徒の喫緊の課題や実態等を的確に捉えた調査・研究、情報・資料の収集・提供・広報等を行う。特に、市の課題に対しては、課題研究部や児童生徒理解部を組織し、顧問を 4 名、所員を 22 名委嘱して年間 12 回程度の研究所員会を開催し、研究・検討を深めていく。その成果については、研究発表会の開催、電子データの配布によって広く公開する。また、市立小中学校の管理職、教職員を対象とした研修会を開催する。

㉒ 学校ミーティング（教育長を囲む会）開催事業

教育長と教育現場職員の対話の機会をつくり、教育現場職員の意見を広く求め、学校と教育委員会の相互理解を深めて今後の教育施策に反映することを目的とした学校ミーティング（教育長を囲む会）を開催している。

平成 28 年度実施	対象校
	全小・中学校長・教頭・事務長・主幹教諭・教務主任・教諭を対象に 5 回開催

⑳ 学校フリー参観デーの開催

市内各小中学校において、年間 2 回実施する。開かれた学校づくりの一環として、授業や給食など教育活動の参観を児童生徒の保護者だけでなく広く市民にも公開し、佐賀市の教育に対する理解促進を図る。

平成 28 年度 参観者実績	第 1 回目 (6 月)	第 2 回目 (秋)
	22, 543 人	20, 403 人

㉑ 特色ある学校運営推進事業

学校と教育委員会が協働して、地域の実状の違いや児童生徒の実態、学校周辺の環境の違い等の地域に応じた学校運営のあり方を探り、特色ある学校運営を行うことを目的として、応募のあった学校を対象として実施する。

平成 28 年度 採択校 (校区)	事業内容	対象年度
松 梅 校	地域とともにある学校推進事業	H28
思 斉 館	確かな学力と豊かな心を育む小中一貫教育の推進事業	H28
富 士 校	小中一貫教育 ～豊かな心をはぐくみ、確かな学びをつなぐ小中一貫教育の研究～	H28～29
川 副 中 校 区	川副中学校区小中連携推進事業	H27～28

㉒ 生徒会活性化事業

佐賀市教科等研究会特別活動部会との協働で、中学校リーダー研修会を開催し、子どものリーダー性を伸ばすとともに、生徒会が自分たちで企画・立案・実行する中学校パワーアッププラン事業を行い、生徒会活動・中学校の活性化を図る。

㉓ 学校職員安全衛生管理事業

市立小中学校に勤務する教職員を対象とし、安全衛生管理体制を整備し、教職員の安全の確保及び健康の保持を行う。各学校は衛生・健康管理委員会を、教育委員会は学校総括安全衛生委員会を開催し、職員の健康保持増進に関することを協議する。また、精神科医によるカウンセリングや教職員対象の研修会を開催する。

㉔ 学校業務改善推進事業

教職員の多忙化解消のための業務改善策を検討・実施し、事務負担軽減を図り、児童生徒と接する時間の確保及びきめ細かな教育指導の充実につなげる。

㉕ 教職員用情報機器整備事業

校務の情報化と校内の情報共有を推進するため、市立小中学校の教職員に 1 人 1 台の情報機器 (ノートパソコン) を整備した。また、校務サーバーへの接続やデータの持ち出しを管理するシステムを運用し、学校情報に関するセキュリティを確保する。

㉖ 小・中学校運営経費

学校の運営や施設の管理に要する経費 (消耗品費、燃料費、光熱水費、備品購入費、修繕料、検査手数料、警備ほか施設管理委託料、原材料費等) において、各学校の実情に応じた予算編成を行うことで、自主・自律性が発揮できる学校運営を図っている。なお、必要な物品の購入や光熱水費の支払い等において、一括して取り扱うほうが効率的な場合は、

教育委員会学事課で取りまとめたうえで処理を行っている。

⑩ 小・中学校教材整備事業

一般教材や音楽教材、体育教材など学校の授業に必要な教材の整備や副読本の作成を行い、学校教育の振興及び教育の向上を図っている。

学校独自の判断を取り入れ、各学校の実情や教育計画に応じた予算編成を行いつつ、備品や印刷物の購入において、共同購入した場合にメリットがあるものについては教育委員会学事課で一括購入を行い、経費の削減に努めている。

⑪ 理科教育振興事業

小中学校の理科の授業に必要な備品を整備し理科教育の振興を図っている。理科教育振興法の設置基準に定められている設備を整備する場合、その設備に要する費用の2分の1を国が補助する。隔年で、小学校と中学校を整備している。

**(3) いじめ、不登校等対策と特別支援教育の充実** 5-2

① スクールカウンセラー活用事業

小中学校での不登校の増加による教育相談事業の重要性を考慮し、児童生徒の臨床心理に関して、高度に専門的な知識・経験・資格（臨床心理士等）を有する専門のスクールカウンセラーを各小中学校に配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。具体的活動としては、悩みを抱えている児童生徒に対し、解決に向けてのカウンセリングや教職員からの相談に対して指導助言を行う。

② 不登校対策事業

適応指導教室「くすの実」を設置・運営し、心理的要因で登校できない状態にある児童生徒に対して、社会的自立を促し、集団生活に対応する力をはぐくむことを目指す。また、「サポート相談員」を配置し、不登校児童生徒の家庭を訪問して、不安の解消を図る。

平成 28 年度配置状況	サポート相談員
	6 人

③ 不登校児童生徒支援事業

ア ICT学習支援員を活用した学習活動支援

家にこもりがちな児童生徒を対象に、生活空間の拡充、学力をつけるための学習教材の提供、支援を目的として、支援員を自宅に派遣する。支援員は、適応指導教室「くすの実」の指導員を中心に、サポート相談員、学級担任とも連絡を取り合い、「家庭」から「くすの実」、そして「学級」への段階的復帰を目指す。

平成 28 年度配置状況	ICT学習支援員
	9 人

イ 学習支援員を活用した学習活動支援

学校において別室登校している児童生徒の学習支援や相談相手をするすることで、別室登校状態の改善を目指した支援を行う。市立小中学校に配置している。

平成 28 年度配置状況	学習支援員
	22 人

④ 特別支援教育推進事業

特別な支援が必要な障がいのある児童生徒の在籍する小中学校に生活指導員、特別支援学級支援員を配置し、対象児童生徒の自立のための支援を行うことで、学校生活への適応及び生活上の安全を図る。

平成 22 年度までは、生活指導員を 34 人配置し対応していたが、平成 23 年度からは、児童生徒一人一人に応じたよりきめ細かな指導を充実するため 72 人に増員し、通常学級の児童生徒に対応している。平成 27 年度からは、特別支援学級の児童生徒の支援のために 13 人の特別支援学級支援員を配置している。

平成 28 年度配置状況	生活指導員	特別支援学級支援員
	72 人	13 人

⑤ 通級指導教室設置事業

通常の学級に在籍する LD・ADHD 等の発達障がいのある児童生徒や、言語障がいのある児童に対して、障がいの軽減や克服を目的とした自立活動、教科の補充指導を行うために通級指導教室を設置している。

	学 校 名	通級教室数
通級指導教室設置状況	勸興小学校	3 教室
	北川副小学校	2 教室
	高木瀬小学校	2 教室
	春日小学校	1 教室
	東与賀小学校	1 教室
	鍋島小学校	1 教室
	成章中学校	2 教室
	大和中学校	1 教室
	計 8 校	計 13 教室

⑥ 発達障がい児相談室（ひまわり相談室）運営事業

発達障がいを理由に学校における支援が困難である児童生徒を対象とし、本人及び保護者、学校関係者を交えた相談業務を行うことにより、困難さを軽減し、学校生活への適応を図る。

**(4) 公平な教育機会の確保** 5 - 2

① 就学援助

経済的な理由により就学が困難だと認められる市内小中学生の保護者に対して、必要な経済的支援を行う。保護者からの申請により審査を行い、援助が必要と認められる場合は、その保護者に対し、学用品費、新入学用品費、修学旅行費、旅行費、給食費、医療費の一部又は全部を補助する。

平成 28 年度就学援助費（平成 29 年度新入学用品費入学前支給分を除く）

平成 28 年度実績	認定者	事業費
小学校	2,020 人	126,565 千円
中学校	1,120 人	96,636 千円
合 計	3,140 人	223,201 千円

平成 29 年度新入学用品費入学前支給分

平成 28 年度実績	認定者	事業費
小学校	252 人	10,231 千円
中学校	320 人	15,168 千円
合 計	572 人	25,399 千円

② 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する市内小中学生の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な経費（学用品費、給食費等）を援助する制度。保護者からの申請により審査を行い援助する。

平成 28 年度実績	認定者	事業費
小学校	235 人	6,291 千円
中学校	72 人	2,895 千円
合 計	307 人	9,186 千円

③ 高等学校生徒通学費補助事業

通学が困難な地域に居住する子どもが高等学校に通学するために要するバス代等の一部を助成する。

平成 24 年度から佐賀県が新たに高額通学費負担者への制度を設けたため、市では県制度と従来制度との差額を助成する。

年度	支給人数	支給金額
平成 28 年度	0 人	0 円

④ 通学費補助事業（小学校・中学校）

◇ 小学校：富士町、大和町、三瀬村に居住し、市立の小学校へ通学する遠距離通学（4km 以上）の児童等の保護者に対して、バス代定期等を補助する。

◇ 中学校：富士町に居住し、市立の中学校へ通学する遠距離通学（6km 以上）の生徒等の保護者に対して、バス代定期券等を補助する。

平成 28 年度	支給人数	支給金額
小学校	93 人	5,573 千円
中学校	20 人	1,783 千円
合 計	113 人	7,356 千円

⑤ 通学区域制度の弾力化推進事業

本市では、在学中における住所の変更や心身上事由など「相当と認められる理由」がある場合、通学区域の弾力的な取扱い（就学校の変更）を認めている。

さらに、新小学1年及び転入、転居により転入学する小学1～6年を対象に居住している小学校及び隣接している小学校から1校を選べる隣接校の選択制、市内のどこからでも選択できる特認校制を実施するなど、保護者のニーズに対応した学校選択制を導入している。

隣接校選択制・・・市内全小学校

特認校制・・・小中一貫校芙蓉校（小）、小中一貫校松梅校（小）、小中一貫校富士校（小）、小中一貫校北山校（小）、北山東部小、小中一貫校三瀬校（小）

**(5) 安全な給食の提供と食育の推進** 5-2

① 学校給食維持管理事業

学校給食を安全かつ円滑に提供するために、市内29か所の給食調理場（自校方式、センター方式）の適切な管理を行う。なお、中部学校給食センターについては、選択制弁当方式（ケータリング方式）で給食を提供している。

② 食に関する教育指導の充実

栄養教諭や県費学校栄養職員が配置されていない学校に嘱託学校栄養職員を配置し、安定した給食運営を行う。また、学事課に嘱託管理栄養士を配置し、市内の栄養教諭、学校栄養職員及び各学校の給食主任と連携を図りながら、本市の「食育」指導の手引きを活用し食教育の充実を図る。

③ 学校給食における安全衛生の充実

「佐賀市学校給食衛生管理基準」を独自に策定し、安全で衛生的な給食の提供に努めている。給食で使用する食品については、「佐賀市学校給食納品規格書」に沿って購入する。さらに食品が納入される際は、複数人で品質、生産地、賞味期限等を確認し、安全な食材を給食で使用している。

④ 学校給食食材の地場産品導入による食農教育の推進

学校給食で使用する食材（農産物）について、地元産の食材をより多く導入できるよう生産者・納入業者・JA・市農業振興課等と協力して取り組みを進める。給食で地元の食材を使用し、同時に給食指導や給食だよりを通じて啓発を行うことにより、地元の農業や生産者のことを理解し、食農教育の推進を図る。

⑤ 学校給食の一部民間委託推進事業

学校給食調理員の正規職員退職者を補充せずに順次委託化を進めている。学校給食の作業工程のうち調理・洗浄部分を業務委託の対象としており、委託化によって削減された経費で市費の嘱託栄養職員の配置を行うなど、給食事業の充実を図る。

⑥ 学校給食施設整備事業

安全な学校給食を提供するため、国が定める「学校給食衛生管理基準」に基づき、給食実施に必要な施設・設備について全体の整備計画を立て、順次衛生面での改善を図る。

## (6) 教育環境の充実 5-2

### ① 学校施設の耐震化

学校施設の耐震化及び老朽化対策として新佐賀市学校施設整備計画に基づき、校舎の耐震補強改修工事等を行う。

また、屋内運動場等の天井材等（非構造部材）の落下防止対策を必要とする施設について改修工事を行う。

### ② 小・中学校施設改修事業

小・中学校施設について、子どもや教職員及び地域住民など施設利用者が安全で安心かつ快適に利用できるよう、改修、改善を行う。

### ③ 小・中学校空調設備設置事業

小・中学校の普通教室、特別支援教室及び特別教室に空調設備を設置していく。

### ④ 小・中学校児童生徒用図書整備

学校図書館の児童生徒用の図書整備を進め、読書指導の活性化はもとより、学校の教育課程の多様な展開に寄与するとともに、児童生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する能力を育て、学習情報センターとしての機能充実を目指す。

また、佐賀市内 53 校の学校図書館蔵書をデータベース化するとともに市立図書館とのネットワークを構築し、学校間及び市立図書館の図書資源の共同利用を行っている。

### ⑤ 小・中学校教育用情報機器の整備

小・中学校のコンピュータ教室に 1 クラス分の児童生徒用パソコン（最大 40 台）と教師用パソコン 1 台、サーバー等周辺機器を整備し、授業でパソコンが円滑に活用できるように、維持管理及び年数が経過した機器の更新を行う。また、学校巡回ヘルプデスクを配置し、学校の情報機器の運用を支援する。

### ⑥ ICT教育環境整備事業

国の事業を活用して構築した教育現場の ICT（情報通信技術）環境での、実証研究の成果を各学校の ICT 利活用教育に活かしていく。

また、平成 25 年度から平成 26 年度にかけて市立全小中学校の普通教室・特別支援教室・特別教室へ、電子黒板を整備した。あわせて、対応するコンテンツの導入と操作運用にかかる支援員を配置し、ICT 利活用教育を推進する。

## (7) 健やかな体の育成 3-4

### ① 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の配置

学校医（内科・眼科・耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師を各学校へ配置し、健康診断の実施や保健管理に関する相談・指導・助言等を行うことにより、児童生徒及び園児の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と児童生徒の健康に関する自己管理意識を高める。

### ② 児童生徒・教職員の各種健康診断等の実施

法により実施を義務付けられている、「児童生徒の健康診断」、「教職員の健康診断」、「未就学児（次年度小学校入学予定者）の健康診断」を実施している。

### ③ フッ化物洗口むし歯予防事業

虫歯の予防、歯の健康に対する意識の高揚を図ることを目的とし、学校でフッ化物洗口を実施する。学校薬剤師に洗口液を作ってもらい、週 1 回、希望する児童生徒にフッ化物洗口を行う。年間 30 回程度実施予定。

④ 学校環境衛生改善事業

学校環境衛生基準に基づき、学校薬剤師、佐賀大学の協力で学校環境衛生検査（空気検査、プール検査等）を実施している。空気検査（ホルムアルデヒド等）は年1回、プールの水質検査は使用期間中に1か月に1回程度実施している。

**(8) 子どもの安全確保のための取り組み** 2-3

① 学校情報携帯メールの配信

あらかじめ、さがんメールに登録した小中学校の児童生徒の保護者等に対し、犯罪・災害等の情報を即時に通知する。あわせて、学校行事の変更など、学校情報の提供も行う。

[資料] 平成29年度児童生徒数一覧表

〔小学校〕

平成29年5月1日現在

学校名	区分 学年	通常の学級							特別支援 学級	合 計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小 計		
勸 興	児童数	58	48	53	47	52	58	316	17	333
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16
循 誘	児童数	59	57	67	65	71	63	382	9	391
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
日 新	児童数	76	61	74	67	79	85	442	11	453
	学級数	3	2	2	2	2	3	14	3	17
赤 松	児童数	100	123	115	95	116	93	642	13	655
	学級数	3	4	3	3	3	3	19	3	22
神 野	児童数	133	128	132	117	127	119	756	19	775
	学級数	4	4	4	3	4	3	22	6	28
西与賀	児童数	54	42	44	46	41	50	277	16	293
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16
嘉 瀬	児童数	32	37	34	30	26	21	180	8	188
	学級数	1	2	1	1	1	1	7	2	9
巨 勢	児童数	48	54	52	46	34	36	270	11	281
	学級数	2	2	2	2	1	1	10	3	13
兵 庫	児童数	134	137	122	129	124	128	774	22	796
	学級数	4	4	4	4	4	4	24	6	30
高木瀬	児童数	133	118	114	133	118	141	757	21	778
	学級数	4	4	3	4	3	4	22	4	26
北川副	児童数	111	95	81	86	71	94	538	19	557
	学級数	4	3	3	3	2	3	18	5	23
本 庄	児童数	74	80	83	72	88	79	476	20	496
	学級数	3	3	3	2	3	2	16	5	21
鍋 島	児童数	138	158	155	143	135	115	844	30	874
	学級数	4	5	4	4	4	3	24	6	30
金 立	児童数	29	39	35	43	32	32	210	21	231
	学級数	1	2	1	2	1	1	8	4	12
久保泉	児童数	29	20	34	23	21	25	152	10	162
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	3	9
芙 蓉	児童数	11	13	19	7	14	12	76	4	80
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
新 栄	児童数	69	52	58	56	62	70	367	18	385
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
若 楠	児童数	54	50	63	49	55	68	339	14	353
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
開 成	児童数	84	91	96	83	78	78	510	15	525
	学級数	3	3	3	3	2	2	16	4	20
諸富北	児童数	38	32	35	41	56	54	256	11	267
	学級数	2	1	1	2	2	2	10	4	14
諸富南	児童数	47	51	55	46	39	32	270	12	282
	学級数	2	2	2	2	1	1	10	4	14
春 日	児童数	79	71	90	82	72	84	478	13	491
	学級数	3	3	3	3	2	3	17	3	20
川 上	児童数	52	42	58	53	42	65	312	7	319
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
松 梅	児童数	6	12	10	8	11	13	60	4	64
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
春日北	児童数	75	84	90	71	81	77	478	20	498
	学級数	3	3	3	2	3	2	16	5	21
富 士	児童数	15	15	13	14	13	19	89	4	93
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
北 山	児童数	2	3	6	3	7	8	29	1	30
	学級数	1		1		1		3	1	4
北山東部	児童数	2	3	1	4	2	2	14	0	14
	学級数	1		1		1		3	0	3
三 瀬	児童数	14	11	13	7	13	11	69	1	70
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
中川副	児童数	11	12	13	18	14	18	86	3	89
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
大詫間	児童数	10	8	5	6	11	5	45	1	46
	学級数	1	1	1		1		4	1	5
南川副	児童数	48	39	31	28	38	36	220	9	229
	学級数	2	2	1	1	1	1	8	2	10
西川副	児童数	44	49	56	52	38	41	280	12	292
	学級数	2	2	2	2	1	2	11	3	14
東与賀	児童数	75	89	73	82	87	92	498	16	514
	学級数	3	3	2	3	3	3	17	5	22
思 斉	児童数	72	67	65	78	88	66	436	18	454
	学級数	3	2	2	2	3	2	14	3	17
合 計	児童数	2,016	1,991	2,045	1,930	1,956	1,990	11,928	430	12,358
	学級数	75	77	67	71	64	67	421	112	533

## 【中学校】

平成29年5月1日現在

学校名	区分 学年	通常の学級				特別支援 学級	合 計
		1年生	2年生	3年生	小 計		
成章	生徒数	151	144	150	445	13	458
	学級数	5	4	4	13	4	17
城南	生徒数	142	160	158	460	4	464
	学級数	5	4	4	13	2	15
昭栄	生徒数	149	177	204	530	16	546
	学級数	4	5	6	15	3	18
城東	生徒数	200	174	199	573	12	585
	学級数	6	5	5	16	3	19
城西	生徒数	100	127	96	323	2	325
	学級数	3	4	3	10	2	12
城北	生徒数	158	156	203	517	17	534
	学級数	4	4	6	14	3	17
金泉	生徒数	65	53	65	183	8	191
	学級数	2	2	2	6	2	8
芙蓉	生徒数	12	13	17	42	3	45
	学級数	1	1	1	3	2	5
鍋島	生徒数	196	196	201	593	9	602
	学級数	6	5	6	17	3	20
諸富	生徒数	84	96	96	276	5	281
	学級数	3	3	3	9	3	12
大和	生徒数	198	183	202	583	6	589
	学級数	6	5	6	17	3	20
松梅	生徒数	6	4	7	17	2	19
	学級数	1	1	1	3	2	5
富士	生徒数	7	13	14	34	0	34
	学級数	1	1	1	3	0	3
北山	生徒数	7	6	6	19	1	20
	学級数	1	1	1	3	1	4
三瀬	生徒数	17	16	13	46	1	47
	学級数	1	1	1	3	1	4
川副	生徒数	100	88	106	294	8	302
	学級数	3	3	3	9	4	13
東与賀	生徒数	89	82	86	257	15	272
	学級数	3	3	3	9	3	12
思齊	生徒数	65	79	77	221	7	228
	学級数	2	2	2	6	2	8
合 計	生徒数	1,746	1,767	1,900	5,413	129	5,542
	学級数	57	54	58	169	43	212

[資料]小中学校教職員数一覧  
【小学校】

平成29年5月1日現在

校名	県費職員数													市費職員数								総合計						
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	栄養士	計	事務職員		栄養士		調理員		事務員		図書館職員		計	職員	嘱託		
														職員	嘱託	職員	嘱託	職員	嘱託	職員	嘱託	職員	嘱託				職員	嘱託
勸興	1		1		1	20	1			4	1		29	1.0		1.0				1.0			1.0	1.0	3.0	30.0	3.0	
循誘	1		1		1	17	1			3	1		25	1.0		1.0				1.0			1.0	1.0	3.0	26.0	3.0	
日新	1		1		1	20	1		1	2	1		28	1.0						1.0			1.0	1.0	2.0	29.0	2.0	
赤松	1		1	1	1	25	1	1	1	4	1		37	1.0						1.0			1.0		3.0	37.0	3.0	
神野	1		1	1		34	1		1	5	1		45	1.0						1.0			1.0		3.0	45.0	3.0	
西与賀	1		1		1	17	1			3	3		27	1.0		1.0				1.0			1.0		4.0	27.0	4.0	
嘉瀬	1		1		1	8	1			2	1		15	1.0		1.0	3.0			1.0			1.0	3.0	4.0	18.0	4.0	
巨勢	1		1			16	1			2	1		22	1.0		1.0				1.0			1.0		4.0	22.0	4.0	
兵庫	1		1	1	1	31		1	1	4	1		42	1.0						1.0			1.0	1.0	2.0	43.0	2.0	
高木瀬	1		1	1	1	29	1			5	2	1	42	1.0						1.0			1.0		3.0	42.0	3.0	
北川副	1		1	1	1	25	1		1	4	2		37	1.0						1.0			1.0		3.0	37.0	3.0	
本庄	1		1		1	25	1			3	1	1	34	1.0						1.0			1.0		3.0	34.0	3.0	
鍋島	1		2	1	1	35	2		1	5	2		50	1.0						1.0			1.0		3.0	50.0	3.0	
金立	1		1		1	12	1			3	2		21	1.0		1.0	3.0			1.0			1.0	3.0	4.0	24.0	4.0	
久保泉	1		1		1	9	1			2	2		17	1.0		1.0				1.0			1.0		4.0	17.0	4.0	
芙蓉		1			1	6				2			10		0.5		1.0				0.5		0.5		2.5	10.0	2.5	
新栄	1		1		1	13	1			4	1		22	1.0						1.0			1.0		3.0	22.0	3.0	
若楠	1		1		1	15	1		1	2	1		23	1.0						1.0			1.0		3.0	23.0	3.0	
開成	1		1	1	1	21	1		1	4	1		32	1.0						1.0			1.0	1.0	2.0	33.0	2.0	
諸富北	1		1		1	13	1	1		3	2		23	1.0						1.0			1.0		3.0	23.0	3.0	
諸富南	1		1		1	14		1		3	1		22	1.0						1.0			1.0		3.0	22.0	3.0	
春日	1		1	1	1	24	1	1	1	3	1		34	1.0			4.0			1.0			1.0	4.0	3.0	38.0	3.0	
川上	1		1		1	16	1			2	1	1	24	1.0						1.0			1.0	1.0	2.0	25.0	2.0	
松梅		1			1	8	1			2	1		14		0.5						0.5		0.5		1.5	14.0	1.5	
春日北	1		1		1	26	1			7	1		38	1.0		1.0	4.0			1.0			1.0	5.0	3.0	43.0	3.0	
富士	1		1		1	8	1			1	1		14	1.0						1.0			1.0		3.0	14.0	3.0	
北山		1			1	4							6		0.5						0.5		0.5		1.5	6.0	1.5	
北山東部	1		1		1	2	1			1	1		8		0.5						1.0		0.5		2.0	8.0	2.0	
三瀬	1		1			9	1	1		1	1	1	16		0.5						0.5		0.5		1.5	16.0	1.5	
中川副	1		1		1	7	1		1	2	2		16		0.5					1.0			0.5	1.0	1.0	17.0	1.0	
大詫間	1		1		1	5	1				1		10		0.5						1.0		0.5		2.0	10.0	2.0	
南川副	1		1		1	9	1			2	1		16	1.0						1.0			1.0		3.0	16.0	3.0	
西川副	1		1		1	17	1			2	1		24	1.0						1.0			1.0		3.0	24.0	3.0	
東与賀	1		1	1	1	26	1		1	4	1	1	38	1.0						1.0			1.0		3.0	38.0	3.0	
思斉	1		1		1	18	1			3	2	1	28	1.0			4.0			1.0			1.0	4.0	3.0	32.0	3.0	
小学校計	32	3	33	9	32	584	29	8	11	99	43	6	889	31.5		9.0	18.0			8.0	25.0		31.5	26.0	97.0	915.0	97.0	
																									計 123.0		計 1,012.0	

【中学校】

平成29年5月1日現在

校名	県費職員数													市費職員数								総合計						
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	栄養士	計	事務職員		栄養士		調理員		事務員		図書館職員		計		職員	嘱託	
														職員	嘱託	職員	嘱託	職員	嘱託	職員	嘱託	職員	嘱託	職員	嘱託			職員
成章	1		1		1	29	1			4	2	39	1.0							1.0			1.0	1.0	2.0	40.0	2.0	
城南	1		1	1	1	26	1			1	1	33	1.0								1.0		1.0		3.0	33.0	3.0	
昭栄	1		1	1		33	1			1	2	40	1.0							1.0	1.0		1.0	1.0	3.0	41.0	3.0	
城東	1		1	1	1	32	2			4	2	44	1.0								1.0		1.0	1.0	2.0	45.0	2.0	
城西	1		1		1	20	1			1	2	27	1.0								1.0		1.0		3.0	27.0	3.0	
城北	1		1	1		33	1			1	1	39	1.0								1.0		1.0	1.0	2.0	40.0	2.0	
金泉	1		1			15	1	1		1	1	21	1.0								1.0		1.0		3.0	21.0	3.0	
芙蓉	1		1			8	1			1	1	13	0.5								0.5		0.5		1.5	13.0	1.5	
鍋島	2	1	1	1	1	34	2			3	1	45	1.0								1.0		1.0		3.0	45.0	3.0	
諸富	1		1			20	1		1	1	1	26	1.0									1.0		1.0	3.0	26.0	3.0	
大和	1		1	1	1	34	2			5	3	48	1.0								1.0		1.0	1.0	2.0	49.0	2.0	
松梅	1		1			9	1			1	1	14	0.5								0.5		0.5		1.5	14.0	1.5	
富士	1		1			7		1	1		1	12	0.5								1.0		0.5		2.0	12.0	2.0	
北山	1		1			8	1				1	12	0.5									1.0	0.5	0.5	1.5	12.0	1.5	
三瀬	1		1			7	1				1	11	0.5									1.0	0.5	0.5	1.5	11.0	1.5	
川副	1		1			21	1			3	2	29	1.0								1.0		1.0	1.0	2.0	30.0	2.0	
東与賀	1		1		1	20	1			1	2	27	1.0									1.0		1.0	1.0	2.0	28.0	2.0
思斉	1		1		1	16	1				1	21	1.0								1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	22.0	3.0	
中学校計	19	1	18	6	7	372	20	2	2	28	26	501	15.5								8.0	10.0	15.5	8.0	41.0	509.0	41.0	
																							計 49.0		計 550.0			

小中学校総合計	51	4	51	15	39	956	49	10	13	127	69	6	1,390	47.0	9.0	18.0	16.0	35.0	47.0	34.0	138.0	1,424.0	138.0			
																							計 172.0		計 1,562.0	

【注】【県費】 小中一貫校の芙蓉校長、松梅校長、北山校長は小中兼務

【注】【市費】 ・・・事務員・図書兼務  
⇒小規模校では、学校図書館職員が学校事務職員を兼務

【注】【市費】 ・・・一貫校の小中兼務  
⇒芙蓉校、北山校では、事務職員・事務員・図書館職員は小中兼務  
⇒松梅校、三瀬校では、事務員は小中兼務

[資料] 小中学校建物等一覧

平成29年5月1日現在

学校名	校地面積 (㎡)			校舎面積 (㎡)			保有教室数	
	総面積	建物敷地面積	運動場敷地面積	鉄筋・鉄骨	木造	計	普通教室	特別教室
本庄幼稚園	3,619	1,518	2,101	697	10	707	3	-
勸興小	25,642	9,993	15,649	5,583	58	5,641	16	13
循誘小	30,518	17,849	12,669	5,597	69	5,666	15	9
日新小	24,790	13,579	11,211	5,627	79	5,706	17	8
赤松小	30,172	17,241	12,931	5,970	76	6,046	22	8
神野小	20,796	12,852	7,944	5,575	81	5,656	28	12
西与賀小	22,587	9,608	12,979	4,578	78	4,656	16	10
嘉瀬小	21,257	11,518	9,739	4,175	109	4,284	9	9
巨勢小	18,362	9,919	8,443	3,418	200	3,618	13	8
兵庫小	26,848	9,540	17,308	5,887	21	5,908	30	6
高木瀬小	25,303	11,116	14,187	5,360	60	5,420	26	9
北川副小	24,586	10,127	14,459	5,133	108	5,241	23	11
本庄小	19,729	10,086	9,643	5,660	60	5,720	21	7
鍋島小	28,816	16,845	11,971	6,904	109	7,013	30	8
金立小	22,491	8,108	14,383	3,347	78	3,425	12	6
久保泉小	20,494	11,996	8,498	3,298	-	3,298	9	8
芙蓉校(小)	29,092	17,112	11,980	1,536	78	1,614	8	1
新栄小	23,124	9,713	13,411	3,756	1,028	4,784	15	10
若楠小	22,323	10,202	12,121	4,876	78	4,954	14	8
開成小	31,581	20,264	11,317	5,556	116	5,672	20	9
諸富北小	20,820	9,081	11,739	4,225	-	4,225	14	9
諸富南小	21,815	12,284	9,531	4,660	60	4,720	14	9
春日小	20,787	9,953	10,834	5,774	-	5,774	20	10
川上小	21,483	13,154	8,329	4,456	84	4,540	14	8
松梅校(小)	8,393	5,573	2,820	1,849	31	1,880	8	7
春日北小	29,183	16,335	12,848	5,044	-	5,044	21	8
(旧富士小)	11,625	7,693	3,932	2,550	-	2,550	-	-
富士校(小)	21,380	14,028	7,352	-	2,251	2,251	8	6
北山校(小)	19,528	12,168	7,360	715	609	1,324	4	2
北山東部小	11,837	5,000	6,837	-	1,241	1,241	3	7
三瀬校(小)	12,810	6,546	6,264	229	2,339	2,568	7	6
中川副小	18,926	8,198	10,728	4,005	-	4,005	8	11
大詫間小	15,493	5,040	10,453	2,303	-	2,303	5	6
南川副小	20,254	12,866	7,388	4,613	-	4,613	10	10
西川副小	22,609	12,020	10,589	4,273	-	4,273	14	9
東与賀小	24,150	10,267	13,883	4,634	8	4,642	22	11
思斉館(小)	21,008	9,281	11,727	5,436	-	5,436	17	11
小学校計	790,612	407,155	383,457	146,602	9,109	155,711	533	290

※ 改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。

※ 普通教室は、普通学級と特別支援学級の計とする。

平成29年5月1日現在

学校名	屋内運動場				給食室			プー ル		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
本庄幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
勸興小	R	1,049	200	H5	R	179	53	RC	525	33
循誘小	S	1,200	-	H23	R	171	62	FRP	450	H5
日新小	R	1,230	220	H9	R	174	H2	RC	485	41
赤松小	R	1,387	-	52	R	181	H3	ステンレス	450	H5
神野小	S	1,200	-	H22	R	180	H5	ステンレス	400	H20
西与賀小	S	820	-	56	R	183	55	RC	400	58
嘉瀬小	R	999	200	62	R	155	60	RC	375	40
巨勢小	S	943	148	H25	R	155	59	RC	325	37
兵庫小	S	1,200	-	H21	S	204	H18	ステンレス	450	H7
高木瀬小	S	1,200	-	H23	S	204	H10	RC	465	57
北川副小	S	1,021	-	56	S	204	H12	ステンレス	475	61
本庄小	R	1,049	200	H3	R	179	H4	ステンレス	450	H3
鍋島小	S	1,200	-	H20	S	249	H28	RC	405	40
金立小	S	944	152	H24	R	151	55	RC	440	39
久保泉小	S	1,200	-	H20	R	135	H8	RC	375	32
芙蓉校(小)	R	589	-	H12	R	129	H6	RC	450	大33小58
新栄小	S	945	148	H26	R	170	46	RC	450	47
若楠小	S	990	-	53	R	183	52	RC	450	53
開成小	R	1,049	200	H1	R	180	H1	FRP	450	H1
諸富北小	R	920	358	H3	-	-	-	RC	325	39
諸富南小	R	990	238	H16	-	-	-	RC	325	45
春日小	R	972	108	57	R	245	52	RC	416	41
川上小	R	942	140	H4	R	219	H4	RC	419	42
松梅校(小)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春日北小	R	929	178	H7	R	228	H7	ステンレス	455	H7
(旧富士小)	R	603	-	51	-	-	-	アルミ合金	477	54
富士校(小)	W	892	103	H17	-	-	-	ステンレス	325	H17
北山校(小)	RS	569	-	H19	-	-	-	ステンレス	321	H20
北山東部小	R	463	-	57	-	-	-	RC	265	H14
三瀬校(小)	S	660	-	H16	-	-	-	-	-	-
中川副小	R	696	-	57	-	-	-	RC	500	H10
大詫間小	R	800	201	H1	-	-	-	RC	375	40
南川副小	R	941	263	62	-	-	-	RC	750	40
西川副小	S	944	152	H23	-	-	-	RC	600	39
東与賀小	S	1,192	-	45	S	301	H8	RC	1,140	41
思斉館(小)	R	947	359	63	S	333	63	RC	1,300	48
計	-	33,675	3,568	-	-	4,692	-	-	16,263	-

※ R(=RC)…鉄筋コンクリート造、S…鉄骨造、RS…鉄筋コンクリート・鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

平成29年5月1日現在

学 校 名	校 地 面 積 ( m <sup>2</sup> )			校 舎 面 積 ( m <sup>2</sup> )			保 有 教 室 数	
	総 面 積	建 物 敷 地 面 積	運 動 場 敷 地 面 積	鉄 筋 ・ 鉄 骨	木 造	計	普 通 教 室	特 別 教 室
成 章 中	33,931	14,476	19,455	5,402	61	5,463	17	13
城 南 中	35,119	17,405	17,714	7,488	58	7,546	15	18
昭 栄 中	33,195	20,458	12,737	8,263	58	8,321	18	16
城 東 中	27,954	14,728	13,226	7,044	107	7,151	19	13
城 西 中	27,891	12,889	15,002	6,168	58	6,226	12	15
城 北 中	38,889	10,264	28,625	5,617	91	5,708	17	12
金 泉 中	23,524	13,265	10,259	3,656	-	3,656	8	9
芙蓉校(中)	0	-	-	1,886	112	1,998	5	9
鍋 島 中	31,600	14,617	16,983	5,686	107	5,793	21	17
諸 富 中	27,746	9,956	17,790	4,301	11	4,312	12	11
大 和 中	43,593	26,438	17,155	7,709	-	7,709	20	17
松梅校(中)	15,259	7,488	7,771	2,202	21	2,223	5	10
富士校(中)	15,471	8,180	7,291	535	1,892	2,427	3	8
北山校(中)	261	261	-	1,511	650	2,161	4	8
三瀬校(中)	10,987	8,477	2,510	1,829	-	1,829	4	5
川 副 中	31,649	14,481	17,168	7,660	-	7,660	13	17
東 与 賀 中	28,705	11,198	17,507	4,238	9	4,247	12	11
思齐館(中)	28,154	17,229	10,925	4,874	-	4,874	8	12
中学校計	453,928	221,810	232,118	86,069	3,235	89,304	213	221

※ 改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。

※ 普通教室は、普通学級と特別支援学級の計とする。

平成29年5月1日現在

学校名	屋内運動場				給食室			プー ル		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
成章中	R	1,342	-	48	-	-	-	ステンレス	400	H24
城南中	R	1,537	474	H4	-	-	-	FRP	400	H4
昭栄中	R	1,436	-	57	-	-	-	RC	375	38
城東中	R	1,277	348	62	-	-	-	FRP	400	H9
城西中	R	1,277	348	63	-	-	-	ステンレス	400	63
城北中	R	1,315	310	H7	-	-	-	RC	375	44
金泉中	S	1,157	180	H17	-	-	-	ステンレス	400	H10
芙蓉校(中)	R	749	-	H12	-	-	-	-	-	-
鍋島中	R	1,375	269	58	-	-	-	FRP	399	58
諸富中	R	1,141	-	41	-	-	-	RC	425	52
大和中	R	2,315	199	62	-	-	-	RC	1,000	46
松梅校(中)	R	897	-	H2	-	-	-	RC	465	49
富士校(中)	S	961	-	41	-	-	-	-	-	-
北山校(中)	R S	725	-	H19	-	-	-	-	-	-
三瀬校(中)	S	455	-	H16	-	-	-	-	-	-
川副中	R	2,595	474	H5	-	-	-	-	-	-
東与賀中	R	1,197	381	62	-	-	-	-	-	-
思斉館(中)	R	1,364	540	H9	-	-	-	-	-	-
計	-	23,115	3,523	-	-	-	-	-	5,039	-

※ R(=RC)…鉄筋コンクリート造、S…鉄骨造、RS…鉄筋コンクリート・鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

[資料] 平成 28 年度就学援助費・特別支援教育就学奨励費補助給付状況

種別	内訳	小学校			中学校			合計 (円)
		児童 総数 (人)	認定 児童数 (人)	給付額 (円)	生徒 総数 (人)	認定 生徒数 (人)	給付額 (円)	
就学 援助 費	修学旅行費	12,287	2,020	4,608,755	5,681	1,120	17,763,183	22,371,938
	旅行費 (市費単独事業)			2,875,562			2,261,408	5,136,970
	学用品費等			28,331,183			27,971,814	56,302,997
	校外活動費 (宿泊を伴うもの)			857,172			29,503	886,675
	新入学用品費			15,614,810			23,198,550	38,813,360
	給食費			81,070,862			39,563,344	120,634,206
	医療費			3,437,413			994,180	4,431,593
	通学費			—			21,536	21,536
	計			—			—	136,795,757
特別支援教育就学奨励費			235	6,290,871		72	2,894,519	9,185,390
合計		—	—	143,086,628	—	—	114,698,037	257,784,665

## 4 家庭・地域・企業等の教育力の向上 5-3

### (1) 「子どもへのまなざし運動」の推進

#### ① 「子どもへのまなざし運動」の概要

子どもが健やかに成長していく過程では、多くの他者とのかかわり、とりわけ大人とのかかわりが重要である。そこで佐賀市では、子どもが社会において保障されるべき様々な権利の尊重に努め、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的にかかわる社会『子どもへのまなざし“100%”のまち』の実現を目指し、市民総参加で子どもを育む市民運動を展開する。平成19年度には、この運動の後ろ盾となる「佐賀市未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例」を制定（平成20年4月1日施行）、平成20年度から本格的な推進を図っている。

#### ア 運動の理念

- i 大人は、子どもを育むことに対する役割と責任を自覚する。
- ii 大人は、子どもの声に耳を傾け子どもの権利を尊重する。
- iii 大人は、子どもの手本となるよう大人自身が模範を示す。

#### イ 大人の役割と行動指針

##### i 子どもを育む4つの場

- 家庭・・・子どもを一人前の大人・親に育てる。
- 地域・・・子どもに地域の一員としての自覚を促す。
- 企業等・・・子どもの勤労感・職業観を育む。
- 学校等・・・子どもの学ぶ喜びを育む。

##### ii 子どもを育む4つの視点

子どもを育む上で、時代の移り変わりに左右されない視点がある。この運動では、その中でも特に大切にしたい「命」・「自立」・「他者とのかかわり」・「子どもを取り巻く環境」という4つの視点から大人の行動指針を提案する。

#### ② 「子どもへのまなざし運動」の具体的な取り組み

#### ア 広める事業

説明会、出前講座等の実施やのぼり旗、ベスト、帽子などの啓発グッズの活用、参加企業の募集など子どもへのまなざし運動の全市的な周知・啓発に努める。

#### イ 紹介する事業

子どもを育む4つの場（家庭・地域・企業等・学校等）で取り組まれている活動を市報さがやフリーペーパー、ホームページ等により情報発信する。

#### ウ ほめる事業

地域や各種団体の優良事例を『まなざしキラリ賞』として表彰し、また実践発表の場を設定することで全市的な意識の高揚を図る。

#### ③ 家庭教育講座開催事業

より多くの保護者に、家庭ですべきしつけ等の家庭教育に関心を持ってもらい、全市的に家庭教育力の向上を図ることを目的として実施する。

#### ア 新入学説明会を活用した家庭教育講座

市内小中学校における新入学説明会の際に講師を派遣し、家庭教育講座を開催する。

イ 家庭教育講座講師派遣事業

保育園、幼稚園、小・中学校 PTA、子育てサークル等が開催する家庭教育講座に講師を派遣する。

④ 放課後子ども教室推進事業

小学校区単位で、地域の方々が実施協議会を設置。心豊かでたくましい子どもを地域、社会全体で育むことを目的として、主に学校や公民館において、週末や放課後の時間帯に、子どもたちが体験できる活動や、子どもたちと地域住民の交流活動を企画運営する。子どもの安全・安心な居場所（遊び場）を整備する目的もあり、子どもへのまなざし運動に定義する地域における取り組みの一つとして推進している。

平成 28 年度 事業実施校区	7 校区 (日新、嘉瀬、兵庫、北川副、新栄、若楠、開成)
--------------------	---------------------------------

⑤ 地域元気アップ事業

地域（校区等）で、学校、幼稚園、保育所、公民館、青少健、子ども会、PTA、社協等、様々な団体の取り組みに関する情報を共有化し、相互に参加しあい、協力しあう等の地域での一体的な子どもを育む体制づくりに対して支援する。

※平成 28 年度補助団体《11 団体》

⑥ 生活体験型通学合宿の実施

地域の各種団体（自治会、子ども会、婦人会、PTA、青少年健全育成団体等）の役員等で構成される「通学合宿実行委員会」や既存の「青少年健全育成団体」が、公民館と連携しながら、地域の実情に応じ、2泊3日、3泊4日等の日程で、小学生の子どもたちが公民館等で異年齢の子どもたちと寝食を共にし、地域の大人の支援を受け、食事の準備、後片付け、掃除、もらい風呂などの生活体験をしながら学校に通う。

平成 28 年度実績	実施校区	23 校区
	参加児童数	458 人
	支援者数（延べ人数）	1,889 人

⑦ 社会教育助成補助事業

社会教育の振興を図るため、社会教育に関する事業を実施する社会教育団体及び青少年健全育成に関する事業を実施する社会教育団体に対して補助金を交付し、その活動を支援する。

⑧ 山村留学助成事業

佐賀市立北山東部小学校において山村留学生を受け入れる。長期留学では1年間、短期留学では夏休み中に2泊3日で地域の方の家にホームステイする。留学生を受け入れることで、地域全体で子どもたちを見守り、育てていく意識の醸成を図る。また、少人数の児童間における人間関係に変化を期待する。事業主体である「やまばと山村留学実行委員会」に対し、補助金を交付する。

(2) 子ども・若者の健全育成

① 少年巡回指導事業

佐賀市青少年センターに専任補導員を配置し、青少年が多く集まる場所、大型店舗等を

中心とした街頭巡回指導を毎日実施するとともに、市内全域に少年育成委員（128名）を配置し、月4回、午前、午後又は夜間に26校区・地区ごとの巡回指導を実施することで、問題行動の早期発見及び早期指導を行い、青少年の非行を未然に防止する。

また、青少年に影響を及ぼす有害環境の調査及び地域環境点検活動（点検店舗：コンビニエンスストア、書店、レンタルビデオ店、カラオケボックス等）を実施し、有害環境の改善に取り組む。

※平成29年度から非行防止対策事業に名称変更

② 子ども電話（面接）・メール相談事業

学校生活に関するいじめ・不登校・友人関係などの問題や、心や体の悩みなどを抱える青少年の悩みに対して、電話相談、面接相談及びメール相談により適切な指導及び助言を行う。

平成28年度 相談対応件数	電話相談	面接相談	メール相談
	30件	4件	30件

③ 子ども・若者支援事業

佐賀市内のニート、ひきこもり、不登校等の子ども・若者を対象とした相談を受け付け、就労、就学等社会的に自立した生活が可能となることを目的とした講座、教室等を開催すること等の支援を行う。

平成28年度相談対応件数	528件
支援対象者数	49人

④ 青少年向け講座開催事業

子どもたちが、体験活動を通じて他人への思いやりや優しさ、協調性を学び、心身ともに健全な青少年へと成長することを目的とする。青少年センターの設備を活用し、卓球教室を年間2期（1期6回、毎週土曜日午前中開催）、理科実験教室（2日間）、親子アロマセラピー教室を開催する。

⑤ 子どもふれあい体験キャンプ

子どもに自然体験・野外体験の機会を提供するとともに、協調性や思いやりの心などを育むことを目的として、市内の小中学校に在籍する4年生から6年生を対象に、佐賀県北山少年自然の家で1泊2日の「友だち100人できるかなキャンプ！」を開催している。

日 程：平成28年5月14日（土）～15日（日）

場 所：佐賀県北山少年自然の家

参加者：104人（佐賀市の小中学校に在学する小学4～6年生）

主な活動内容：防災教室・キャンプファイヤー・オリエンテーリングなど

⑥ 久米島町中学生交流事業

沖縄県久米島町と佐賀市の中学生が交流し、双方の異なる歴史や文化、環境に触れることにより、郷土への理解を深める。

また、佐賀市出身で久米島町に大きな業績を残した第11代齋藤用之助の功績に触れ、郷土に誇りを持つ中学生を増やす。

⑦ 博愛精神育成事業

佐賀の七賢人の一人である佐野常民が創設した日本赤十字社等の縁地・足跡の見学や研修・体験学習を通して、常民が提唱した「博愛精神」を養い、学校や地域のリーダーとし

て活動する青少年の健全育成を図る。

佐野常民を顕彰し、博愛精神推進事業に積極的に取り組んでいる佐野常民顕彰会に補助金を交付し、川副地区内の小中学生を対象とした日本赤十字社本社等の見学、JRC加盟校との交流会、日本赤十字社の活動養成宿泊訓練（2泊3日）への参加等を実施している。

⑧ 青少年センター管理運営事業

昭和47年7月1日に青年の家として設立後、平成15年4月1日に青少年センターと名称変更した。また、平成28年10月1日に佐賀パルーンミュージアム3階に移転した。青少年に学習と憩いの場を与え、健やかな成長の支援を行い、また、困難を有する青少年等の支援を行うための施設である青少年センターの管理運営事業を実施する。

【佐賀市青少年センター利用者の推移】 (延べ人数)

	小中学生	高校生	大学生	一般成人	合計	1日平均
平成24年度	10,609人	3,869人	978人	21,988人	37,444人	104人
平成25年度	11,646人	3,328人	1,474人	21,419人	37,867人	105人
平成26年度	14,652人	4,071人	1,676人	19,373人	39,772人	111人
平成27年度	12,554人	5,297人	1,630人	20,648人	40,129人	111人
平成28年度	15,438人	19,524人	1,289人	15,581人	51,832人	149人

⑨ 佐賀市成人式

佐賀市成人式は、その年度に二十歳を迎える方を対象に、毎年1月、成人の日の前日の日曜日に開催する。

大人としての自覚を持ち、地域社会や国際社会に羽ばたき、社会人として自立する新成人の門出を祝福するとともに、これからの社会を担っていく若者を激励するために開催する。

【28年度佐賀市成人式】

会場	開催日時	開催場所
佐賀	1月8日(日) 14:00～	佐賀市文化会館
諸富		諸富町公民館
大和		ホテル龍登園
富士		富士公民館
三瀬		三瀬公民館
川副		スポーツパーク川副
東与賀		東与賀文化ホール
久保田		久保田保健センター

⑩ 発明クラブ運営事業

佐賀県発明協会と市教育委員会との共催で、平成元年度にクラブを発足。佐賀市からの補助金と佐賀商工会議所等の企業・事業所からの助成金でクラブを運営している。クラブ員は市内の小・中学生約30名で、クラブ員個々がアイデアを出しながら、年間を通してオリジナルの作品を作り上げ発表する。専任指導員1名と指導員数名にて指導を行い、勸興小学校において土曜日の午前中、年間30回程程度の活動を行っている。

## 5 自ら学ぶ生涯学習の推進 5-4

### (1) 多様な学習機会の提供

#### ① さが学（郷土学）推進事業

佐賀の豊かな資源（自然や歴史的・文化的なもの、人材など）についての「さが学（郷土学）」を多くの市民（大人・子ども）が学ぶことで、市民の郷土に対する誇りと愛着を深め、第三次教育振興基本計画の基本目標である「ふるさと「さが」を協働でつくる個性と創造性に富む人づくり」の実現を図るとともに、市民が生涯学習に取り組むきっかけとするものである。公民館が先進的な事業を提供できるように効果的な教材作成を支援する。

#### ② 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機材・教具を購入整備し、それらの機器を学校、社会教育団体、市民に貸し出すことで、市民の学習機会の提供を行う。

視 聴 覚 教 材 品 名	
16 ミリ映写機	C D ラジカセ
スライド映写機	P A システム
ビデオカメラ・三脚	スクリーン
デジタルカメラ	プロジェクター
ビデオデッキ	レーザーポインター
マイクスタンド	ドラムコード
O H P	ハンドマイク
ワイヤレスアンプ	D V D プレーヤー・レコーダー

#### ③ 自治公民館建設事業の助成

地域において自治公民館の建設等(新築・修繕等)を行う際に、工事費の一部を助成する。

○ 工事費が 50 万円以上のものに対して、工事費の 20%（上限 300 万円）

## (2) 生涯学習施設の整備・運営

### ① 施設の設置状況

種 類	該 当 施 設	運 営 形 態
公民館 (31 館)	勸興、循誘、日新、赤松、神野、西与賀、嘉瀬、巨勢、兵庫、高木瀬、北川副、本庄、鍋島、金立、久保泉、蓮池、新栄、若楠、開成、諸富町、春日、春日北、川上、富士、三瀬、南川副、西川副、中川副、大詫間、東与賀、久保田	直営
コミュニティセンター (2 施設)	富士南部コミュニティセンター	指定管理者 (富士町内野自治会)
	富士北部コミュニティセンター	指定管理者 (富士町中原区)
その他社会教育施設 (5 施設)	佐野常民記念館 金立教育キャンプ場 東与賀農村環境改善センター 久保田農村環境改善センター	直営
	星空学習館	指定管理者 (佐賀天文協会)

### ② 施設の管理運営

#### ア 公民館 (市内 31 館)

公民館の管理運営を行い、地域活動やサークル活動の拠点として活用を推進するとともに、講座等の開催をとおして生涯学習の推進、文化の振興及び住民福祉の増進を図る。

#### イ コミュニティセンター (富士南部、富士北部)

コミュニティセンターの管理運営を行い、地域住民が気軽に立ち寄ることができ、住民会議、情報交換、各種学習活動、サークル活動、軽スポーツなどの活動の場として地域コミュニティ活性化のための施設として活用する。

#### ウ 佐野常民記念館

佐野常民記念館の管理運営を行い、佐野常民の遺徳を顕彰するとともに、次世代教育やボランティア活動などの体験学習を通して生涯学習の推進を図る。

#### エ 金立教育キャンプ場

市民、特に、小中学生を対象にキャンプ施設を提供することで、社会性、創造性、自然を愛する心を養うことにより青少年の健全育成を図る。

#### オ 農村環境改善センター (東与賀、久保田)

農村環境改善センターの管理運営を行い、市民が地域活動や各種サークルを通じて利用者どうしの交流を図ることで、知識や技術を習得し、生きがいを見出す機会を創造する拠点となる施設として利用する。

#### カ 星空学習館

星空学習館の管理運営を行い、天体・科学に関する学習を推進することで、生涯学習の振興を図る。

## 6 佐賀市立図書館 5-4

### (1) 図書館運営事業

佐賀市立図書館本館を拠点に、6つの分館、6つの分室を設置し、遠隔地には自動車図書館を運行することで、市内全域の図書館サービスを展開している。

また、地域の情報拠点、生涯学習の拠点、市民の交流の場としての機能をさらに充実させ、市民の教養、文化の向上を図るため、利用者ニーズにあった多様な資料収集に努めている。

### (2) 図書館施設整備事業

図書館の施設整備計画を策定し、老朽化した施設（本館・分館）の施設整備、改修を計画的に実施していく。

### (3) 図書館資料整備事業

あらゆる人々の多様なニーズに応じていくため、図書資料、視聴覚資料、郷土・行政資料など、幅広く奥行きのある蔵書の収集、整理、保存に努め、図書館サービスの充実を図っている。

### (4) 読書活動支援事業

図書館や学校等でのボランティア活動を支援するために施設等の提供を行い、読み語りや対面朗読のボランティア養成講座を実施している。

また、課題解決型読書支援として、図書館の使い方講座、調べもの講座など、各種支援講座を実施している。

### (5) 情報発信事業

展示ギャラリー等での地域情報の発信のほか、市報さが、図書館だより、市立図書館ホームページ、マスコミ等を活用した様々な情報発信を行っている。

### (6) 分館・分室運営事業

公民館等内に設置された分館（大和館、諸富館、東与賀館、富士館、三瀬館、川副館）では、地域の利用者ニーズに応じた特色ある図書館運営を行いながら、地域の学校やボランティアとの連携を図ることで利用促進に努めている。

また、市街周辺部（開成、金立、鍋島、高木瀬、本庄、巨勢）の公民館内に設置した分室においても定期的にイベントを実施し、地域住民や高齢者等の図書館の利用推進を図っている。

### (7) 自動車図書館運営事業

交通が不便な山間部や遠隔地で運行している自動車図書館は、随時、サービスステーションを見直しながら、すべての市民が身近に利用できるように図書館サービスに努めている。

#### **(8) 図書館ネットワークの充実**

利用者が貸出・返却場所を自由に選べるように本館、分館、分室、自動車図書館での資料の流通を図っている。

また、相互貸借制度を利用し、市立図書館に所蔵していない図書資料を他の公共図書館から借り受けて利用者に提供している。

そのほか、市内小・中学校との資源共有を進め、資源の効率的な活用を図るとともに、学校図書館への支援を通して児童生徒の学習、読書活動を支援している。

#### **(9) 図書館サービスの充実**

利用者のニーズに応じた資料の貸出・返却、A V(視聴覚資料)館内視聴サービス、視覚障がい者のための対面朗読などのハンディキャップサービス、子どもに本との出会いを提供する児童サービス、青少年の読書活動を推進するヤングアダルトサービス、資料等に関する相談に応じるレファレンスサービスを行っている。

また、図書館資料の検索や貸出中の資料を予約できるサービスなど、インターネットを利用したW e bサービスの充実を図っている。

#### **(10) 図書館資料リユース（再使用）の推進**

市立図書館で除籍した図書資料を学校図書館、公共施設、ボランティア団体、市民に再使用してもらい、資源のリユースを推進している。

○ 佐賀市立図書館利用案内

項目		内 容		
1	開館時間	本館・大和館・諸富館・富士館・東与賀館	火～土曜日 10:00～19:00 (富士館は18:00まで) 日曜・祝日 10:00～17:00	
		三瀬館・川副館・分室 (開成・金立・鍋島・高木瀬・本庄・巨勢)	火曜日 12:00～17:00 水曜日～土曜日 10:00～17:00	
2	休館日	休館日	毎週月曜日 (祝日のときは翌日) 年末年始 ※三瀬館・川副館・分室は日曜・祝日休館	
		館内整理日	12月を除く毎月最終木曜日 (祝日のときは翌日)	
		特別整理期間	年7日以内	
3	貸出の対象	① 佐賀中部広域連合構成市町に在住する者 ② 佐賀市内に通勤、通学する者 ③ その他館長が認める者		
4	個人貸出	資 料	数 量	期 間
		図 書 資 料	15点以内	2週間以内
		ビ デ オ ・ D V D	合わせて2点以内	2週間以内
		C D ・ カ セ ッ ト	合わせて3点以内	2週間以内
	絵 画	1点	1箇月以内	
5	団体貸出	図 書 資 料	1,000冊以内	3箇月以内
		そ の 他 の 資 料	個人貸出の例による	
6	視聴覚資料 の館内利用	ビデオ・DVD 視聴	ブース5席	
		CD・カセット試聴	試聴席1席	
7	集 会 室	多目的ホール (165㎡)	図書館法による集会活動。ただし、図書館運営に支障のない範囲内で一般の利用に供する。 ○ 使用料 [10時～12時 2,160円]・[13時～17時 4,320円]・ [18時～21時 4,320円] ※営利目的、政治活動、宗教活動は利用できない。	
		大集会室 (100㎡)	図書館法による図書館活動に沿った利用等。 ※営利目的、政治活動、宗教活動は利用できない。	
備考	<p>※「図書資料」とは、本・雑誌・紙芝居のことで、雑誌についてはバックナンバーを貸出対象としている。</p> <p>※貴重本等については、館外貸出規制を設けているものもある。</p> <p>※佐賀中部広域連合構成市町 4市1町 (佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町)</p>			

## ○ 図書館利用統計

年 度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	
本館入館者数(人)	561,160	530,850	518,604	517,698	497,948	
新規登録者数(人)	8,754	8,060	7,586	7,467	7,189	
貸出点数	本館	1,384,298	1,316,711	1,263,317	1,230,294	1,162,500
	大和館	155,803	158,235	156,191	153,615	155,727
	諸富館	59,597	61,096	59,766	65,486	62,542
	東与賀館	72,501	78,671	78,513	79,702	77,220
	富士館	36,563	31,824	30,385	30,387	34,835
	三瀬館	11,773	9,852	11,241	10,541	9,579
	川副館	32,511	33,069	33,546	37,968	33,150
	自動車図書館及び団体貸出	42,911	35,440	29,657	30,552	28,927
	開成分室	36,593	36,750	34,856	36,738	27,953
	金立分室	31,707	32,209	34,012	34,285	35,426
	鍋島分室	54,266	52,639	42,863	36,374	46,955
	高木瀬分室	55,303	61,519	59,309	63,291	60,521
	本庄分室	45,759	43,236	44,370	44,422	40,262
	巨勢分室	43,547	48,917	47,194	47,693	41,894
合計	2,063,132	2,000,168	1,925,220	1,901,348	1,817,491	
返却点数	1,975,273	1,910,843	1,833,712	1,806,612	1,722,905	
資料所蔵数	841,189	837,759	834,053	830,301	813,448	
予約点数	144,996	157,388	159,220	157,504	160,107	
レファレンス件数	12,121	16,564	19,584	19,053	15,573	
本館開館日数	289	288	289	292	290	
本館入館者／日	1,942	1,843	1,794	1,773	1,717	
貸出点数／日	7,139	6,945	6,662	6,511	6,267	
返却点数／日	6,835	6,635	6,345	6,187	5,941	
予約点数／日	502	546	551	539	552	
レファレンス件数／日	42	58	68	65	54	

## 7 誰もが親しめる市民スポーツの充実 5-5

### (1) 生涯スポーツの推進

#### ① スポーツ教室開催補助事業

スポーツや運動が、より身近なものとして広く浸透するために、スポーツをやりたいと思っている市民に対し、そのきっかけづくりとして各種団体に補助金を交付し、初心者向けスポーツ教室の開催を促す。

○平成 28 年度実績（各種目団体等への教室開催補助）

教室名	回数	参加者数
太極拳教室（6月～7月）	5回	30人
卓球（初心者・ラージボール）教室（6月～8月）	10回	40人
ジュニアテニス教室（9月～10月）	10回	20人
初心者スポーツ吹矢教室（2月～3月）	5回	19人
川副キッズサッカー教室（1月～3月）	10回	9人
初心者水泳教室（2月～3月）	5回	20人

#### ② スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団は日本最大の青少年スポーツ団体で、小学生を中心に、中学生、高校生まで加入できる。

佐賀市スポーツ少年団に対し補助を行うとともに、事務局として団の運営を支援し、少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の健全な育成に資する。

○佐賀市スポーツ少年団状況（平成 28 年度実績）

登録状況	登録団 34 団 ・ 団員 695 人 ・ 指導者 103 人
主な活動	市スポーツ少年団大会（6月） 8 種目 48 チーム 868 人 親子シップス交流大会（11月） 9 チーム 67 人

#### ③ ニュースポーツ推進事業

年齢や性別、体力、障がいの有無に関わらず、だれもが気軽に楽しめるニュースポーツの特長を活かし、地域スポーツの普及促進の手段の一つとして、ニュースポーツ用具の整備、貸出等を行うとともに、佐賀市スポーツ推進委員と連携を図りながら各地区で出前講座等を行い、ニュースポーツの指導・普及に努める。

職員出前講座	参加者数	種目
小・中学校での開催(11回)	865人	スカットボール、いごてだま、ターゲットゲーム、キンボールなど
公民館等で高齢者を対象に開催(6回)	95人	ペタンク、ガラッキー、アトラックゲームなど

#### ④ 総合型地域スポーツクラブ支援事業

総合型地域スポーツクラブとは、多世代、多種目、多志向の3つの多様性を柱とする、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。設立準備中から設立後2年以内までの補助を期限に、クラブ創設の推進を図る。

「佐賀市総合型地域スポーツクラブ連絡会」において、総合型クラブ間の情報交換や交流の機会等を設け、各クラブの自立の促進を図った。

⑤ スポーツ推進委員協議会活動推進事業

スポーツ推進委員相互の連絡連携を密にするとともに、スポーツ推進委員の資質の向上と地域での実技指導等の活動を円滑にするため、市はスポーツ推進委員協議会の活動に対し補助等の支援を行う。協議会は、自主的活動、自主的運営の体制づくりを確立するため、理事会、総務委員会、研修委員会、事業委員会の各専門委員会を定期的に開催、各委員会等での協議・研修をふまえて市民スポーツの推進のための各種活動を行う。

○スポーツ推進委員数 112人

○各種会議等（理事会、総務委員会、研修委員会、事業委員会）

○研修会（定例研修会、女性委員研修会）

○自主活動（佐賀市まなざしスポレク祭、佐賀市研究大会の開催、佐賀県実技研修会、佐賀県研究大会、九州地区研究大会、全国研究大会への参加）

○バルーンフェスタ、さが桜マラソン、市障がい者体育大会への支援

○市老人クラブ連合会ニュースポーツ講習

⑥ スポーツ推進審議会

本市のスポーツ行政に反映させるため、審議会を開催し佐賀市のスポーツ推進に関し、スポーツに造詣の深い方々に専門的立場から調査、審議、建議していただく。

○佐賀市スポーツ推進審議会委員 16人

○スポーツ推進審議会の開催 1回

⑦ さが桜マラソン大会開催事業

佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、佐賀市、神埼市の五者で、平成25年度よりフルマラソンとして生まれ変わった「さが桜マラソン」を開催する。沿線の住民及び事業所に対して十分な周知・協力依頼を行い、広報等による市民の機運醸成、ボランティアの確保・管理や、参加者及び来訪者の心に残る大会とするためのおもてなしを行う。

○さが桜マラソン2016 平成28年4月3日（日）開催

区分	出走者数	完走者数	完走率
フルマラソン	8,714人	7,890人	90.5%
ファンラン	1,421人	1,421人	100.0%

・ボランティア数 約3,000人 ・沿道応援者数 約80,000人

・大会の評価 94.6点（RUNNET「大会レポ」より）

○さが桜マラソン2017 平成29年3月19日（日）開催

区分	出走者数	完走者数	完走率
フルマラソン	8,819人	8,152人	92.4%
ファンラン	1,472人	1,465人	99.5%

・ボランティア数 約3,000人 ・沿道応援者数 約80,000人

・大会の評価 93.0点（RUNNET「大会レポ」より）

⑧ 学校体育の充実

生涯にわたって、体育・スポーツ活動を通して、健康で明るい生活を営み、健康の保持増進、体力の向上を図っていくための正しい理解と望ましい習慣を身につけさせるため、

次のような事業を実施している。

- ・ 体育主任会や各種実技講習会の開催等による指導者の資質の向上
- ・ 各種体力・運動能力調査に基づく小・中学生の運動能力の実態把握
- ・ 創作ダンス発表会、水泳大会、駅伝大会、団体マラソン等の開催

## (2) 競技スポーツの推進

### ① 佐賀市体育協会との連携事業

公益財団法人佐賀市体育協会（市体協）は、地区体育協会の育成、競技種目協会等の育成、選手の強化、大会の開催などの事業を通し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、市民の健全な心身の発展に取り組む団体である。市体協に補助金を交付することにより、市体協と連携して佐賀市の体育・スポーツの健全な普及・発展を推進する。

○平成 28 年度加盟団体 地区 29 種目等 35

○主な事業 ・各種大会選手派遣費補助（59 件） ・各種スポーツ教室開催（13 教室）  
・各種スポーツ大会開催（2 大会）

### ② 市民体育大会開催事業

市民のスポーツに参加する意欲と関心を盛り上げ、スポーツが生活の中に密着し、健康で明るい郷土づくりに寄与するため、市民スポーツの祭典として開催する。

市内各会場において競技を行い（競技によっては県体予選を兼ねる）、小学校区及び地区対抗で得点を競う。

○市民体育大会（7 月）

・19 競技 30 種別を実施 ・参加者 約 6,000 人（うち選手 5,270 人）

### ③ 校区対抗駅伝大会開催事業

市が主催し、市体協の協力を得て各地区体協への参加を募り大会を運営する。駅伝競走に親しむことにより、健康と体力の維持・増進を図り、各地区対抗での順位を競う。

また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

佐賀市干潟よか公園周辺において、6 区間、23.3 km で開催。

○平成 28 年度校区対抗駅伝大会（1 月）29 チーム 287 人参加。

### ④ 県民体育大会への参加

県民体育大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

開催地は、県内を 4 ブロックに分け、持ち回りで開催。

10 月第 3 土曜日・日曜日、平成 28 年度から 20 競技 33 種目で開催。

○平成 28 年度 第 69 回県民体育大会 ※19 年連続 56 回目の優勝

・20 競技 33 種目に参加 ・監督、選手数 572 人 ・役員数 37 人

### ⑤ 県内一周駅伝大会への参加

県内一周駅伝大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

佐賀県陸上競技中・長距離界のレベルアップと底辺拡大、さらに県民の体力づくりと融和を図ることを目的とし、郡市対抗による、3日間、全33区間、270.1kmで開催。

○第57回郡市対抗県内一周駅伝大会 平成29年2月17日～19日（3日間）

佐賀市成績 第2位（出場13チーム）

※鳥インフルエンザ防疫のため、3日目2区間（19.4km）を中止。

⑥ 各種スポーツ大会開催補助事業

スポーツの競技大会は、参加する競技者にとって日ごろの練習の成果を発揮する場であると同時に、市民にとってはアスリートの姿を目にすることができる絶好の機会となり、競技力の向上や競技人口の増加等にもつながる。生涯スポーツ、競技スポーツどちらにおいても推進を図っていくために必要な支援で、スポーツ大会開催団体へ補助金を交付し、大会の円滑な運営を図る。補助を通して、より充実した大会が開催されることにより、スポーツへの参加を促し、啓発、啓蒙に資する。

○平成28年度実績

大会名	参加者数
土井旗・土井杯争奪思斉館柔剣道大会（4・5月）	400人
佐賀県北部連合尚武会演武大会（9月）	146人
三瀬旗少年剣道大会（9月）	760人
ムツゴロウ杯卓球バレー交流大会（9月）	120人
富士しゃくなげ湖ハーフマラソン大会（11月）	874人

⑦ スポーツ拠点づくり推進事業

東アジア随一の天然芝コートをもつ「グラスコート佐賀テニスクラブ」で、全国各地から選抜されたジュニアテニスのトップ選手を対象としたトレーニングキャンプ開催を支援することにより、東京オリンピック、佐賀国体で活躍する選手の育成を図る。

キャンプでは、テニスの指導やトレーニング、ルール、栄養指導が行われるほか、一般向けに「公開講座（無料）」を開催。子どもたちや市民が、ジュニアのトップレベルのプレーを観戦することにより、テニスの技術の向上、スポーツに対する関心を高める。

○平成28年度実績

第2回グラスホパージュニアテニスキャンプ（8月）

参加選手130人 短期体験キャンプ参加選手10人 ・公開講座 4講座

⑧ 少年スポーツ大会開催補助事業

社会体育の一環として、児童がスポーツに親しむことにより、スポーツの普及及び技術の向上を図るとともに、相互の親睦を含め、心身ともに健全な児童の育成を図ることを目的に、種目団体（軟式野球、卓球）に補助を行う。

大会名	開催場所	参加者数
佐賀市少年野球大会（7月）	大和中央公園他	28チーム
佐賀市長杯小学生卓球大会（9月）	佐賀市立体育館	34人

⑨ スポーツ合宿推進事業

市内宿泊施設に宿泊し合宿を行うアマチュアスポーツ団体に対し、宿泊費の補助を行う。また、国内外のプロチームや代表チームに対し歓迎セレモニーの実施、特産品の提供を行う。

○平成 28 年度実績

<p>補助金交付団体 (13 団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校 大村城南高等学校ボート部 川内商工高等学校男子バレーボール部 ほか 4 校</li> <li>・ 大学 福岡大学体操競技部 九州大学体操部 ほか 4 校</li> <li>・ その他 ゴールキーパーアカデミー</li> </ul>
<p>代表・プロチームキャンプ (5 団体)</p>	<p>サッカーU-23 日本代表候補 トヨタ紡織ボート部 今治造船ボート部 AC長野パルセイロ (サッカー J3) 兵庫ブルーサンダーズ (プロ野球独立リーグ)</p>

⑩ スポーツ指導者育成事業

ジュニア期は生涯を通じてスポーツと関わる習慣を身につける重要な準備期であることから、勝利至上主義を見直し、スポーツのあり方や適正な指導方法を指導者、保護者に啓発する必要がある。

少年スポーツ指導者や保護者に対して、ジュニア期におけるスポーツのあり方等についての講演会や研修会を開催し、指導に関する最新の情報を習得し、少年スポーツ指導における正しい指導法確立を支援する。

○平成 28 年度実績

講演会・研修会名	内 容
<p>佐賀市・(公財)佐賀市 体育協会合同少年スポー ツ講演会 平成 28 年 12 月 19 日 ・参加者 107 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これからの少年スポーツについて」</li> <li>・パネルディスカッション 「今、子どもの将来のために何をしておかなければなら ないか」</li> </ul>
<p>佐賀市・佐賀市スポーツ 少年団 少年スポーツ指 導者・保護者研修会 平成 29 年 3 月 4 日 ・参加者 58 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ少年団の現状について」</li> <li>・「ジュニア期のスポーツ指導に求められること」</li> </ul>

### (3) スポーツ施設の整備と活用

#### ① スポーツ施設の整備

市民が日常生活の中で、いつでも気軽にスポーツ施設を利用できるように、施設の環境整備を進める。

#### ② スポーツ施設の管理・運営

市民が、快適にスポーツや運動に親しむことができるように、利用者の視点に立ったサービスや利便性の向上に努めるとともに、利用者が安全かつ公平に利用できるよう適正な管理・運営を行う。

また、指定管理者制度の導入を図り、民間の能力を活用した住民サービスの向上と施設の効果的な運営に努める。

#### ③ 施設のネットワーク化及び情報提供

市民がインターネットを活用してパソコンや携帯電話から体育施設の空き状況の確認や利用申込等ができる「公共施設予約システム」を運用し、身近なスポーツ施設の情報を発信している。

#### ④ 学校体育施設の開放

市民のもっとも身近にある学校体育施設を有効活用し、スポーツ活動や地域のふれあいの場として、学校教育に支障のない範囲で一般に開放する。佐賀市内の 52 校において、学校体育施設開放運営委員会により管理を行っている。

また、市内の小学校 10 校のグラウンド及び中学校 1 校のテニスコートに夜間照明施設を設置し、利便性向上に努めている。

○ 体育施設一覧

名 称		施 設 の 概 要
体育館	佐賀勤労者体育センター	アリーナ35m×31m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、フットサル、卓球台15台、2階：卓球台2台
	市立体育館	アリーナ33m×37m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、トレーニング室、卓球台21台
	諸富文化体育館	アリーナ42m×34m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン6面、ミニテニス6面、トレーニング室、ステージ 座席数1, 294席、卓球台9台
	大和勤労者体育センター	アリーナ30m×35m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン6面、2階：卓球台5台
	三瀬勤労福祉センター	バレーボール2面、バドミントン3面、フットサル、剣道4面、卓球台12台
	スポーツパーク川副体育センター	アリーナ42m×28m バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン6面、フットサル、卓球台19台
野球場	市立野球場	両翼93m、中堅120m 磁気反転式スコアボード 屋内ブルペン
グラウンド	市民運動広場	野球1面、ソフトボール2面 夜間照明
	西神野運動広場	ソフトボール1面、少年野球1面、ゲートボール、グラウンドゴルフ
	嘉瀬川河川敷北グラウンド	野球4面
	諸富公園多目的広場	野球1面、ソフトボール2面、サッカー2面 夜間照明
	大和中央公園自由広場	野球2面、ソフトボール4面 夜間照明
	春日運動広場	野球1面、少年野球2面、ソフトボール2面
	富士運動広場	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	富士山村広場	野球2面、ソフトボール2面
	三瀬グラウンド	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	スポーツパーク川副多目的広場	野球2面、ソフトボール4面、サッカー2面 夜間照明
	川副運動広場	野球1面、ソフトボール1面、ゲートボール4面
	東与賀運動公園運動広場	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	久保田グラウンド	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	久保田補助グラウンド	サッカー、グラウンドゴルフ、陸上競技等
	健康運動センター多目的グラウンド	野球2面、ソフトボール4面、サッカー2面 夜間照明
	健康運動センターサッカー・ラグビー場	人工芝グラウンド1面(夜間照明)、天然芝グラウンド1面、管理棟(更衣室等)
テニスコート	市立テニスコート	砂入り人工芝コート8面 夜間照明
	諸富公園テニスコート	クレーテニスコート2面
	大和中央公園テニスコート	全天候型ハードコート2面(夜間照明)、クレーテニスコート2面
	春日運動広場多目的コート	クレーテニスコート4面
	東与賀運動公園テニスコート	人工芝テニスコート2面・クレーテニスコート2面(夜間照明) ゲートボール場4面
武道館等	市立弓道場	近的射場10人立、遠的射場6人立
	諸富文化体育館多目的室	柔道1面
	スポーツパーク川副武道館	剣道場、柔道場、弓道場近的射場3人立
	富士運動広場屋内練習場	剣道1面、卓球台4台
	スポーツパーク川副トレーニングハウス	バラエティールーム、トレーニングルーム、ミーティングルーム
	東与賀運動公園スポーツルーム	第1体育室、第2体育室 卓球台設置
相撲場	富士運動広場相撲場	屋根付き相撲場
プール	三瀬プール	25m 5コース(内1コース徒歩用)
	スポーツパーク川副市民プール	50m 8コース
	健康運動センター健康運動館(温水プール等)	メインプール(25m 7コース)、可動床・流水プール、子ども用プール、ジャグジースタジオ、トレーニングルーム、浴室、多目的室

○ 体育施設別利用状況

	施設名	区分	27年度		28年度	
			人数	計	人数	計
			体 育 館			
佐賀勤労者体育センター	個人利用	6,476	52,644	2,387	21,946	
	団体利用	46,168		19,559		
市立体育館	個人利用	10,794	64,658	11,587	67,052	
	団体利用	53,864		55,465		
諸富文化体育館	個人利用	0	61,765	0	65,841	
	団体利用	61,765		65,841		
大和勤労者体育センター	個人利用	5,426	36,605	6,670	41,932	
	団体利用	31,179		35,262		
三瀬勤労福祉センター	個人利用	1,233	12,407	287	10,685	
	団体利用	11,174		10,398		
スポーツパーク川副体育センター	個人利用	0	14,504	0	26,206	
	団体利用	14,504		26,206		
グ ラ ウ ン ド						
	施設名	区分	27年度		28年度	
			人数	計	人数	計
市立野球場	一般	4,115	11,616	5,107	13,051	
	高校生以下	7,501		7,944		
市民運動広場	野球	1,402	36,308	1,550	38,800	
	ソフトボール	3,622		3,612		
	その他	31,284		33,638		
西神野運動広場	野球	3,586	22,160	3,228	25,816	
	ソフトボール	1,168		1,667		
	その他	17,406		20,921		
嘉瀬川河川敷北グラウンド	野球	1,300	2,251	1,047	1,356	
	ソフトボール	843		259		
	その他	108		50		
諸富公園多目的広場	野球	2,487	33,229	2,110	35,405	
	ソフトボール	3,189		4,035		
	その他	27,553		29,260		
大和中央公園自由広場	野球	3,043	36,398	4,763	38,222	
	ソフトボール	4,032		6,721		
	その他	29,323		26,738		
春日運動広場	野球	16,086	25,626	17,849	22,637	
	ソフトボール	0		0		
	その他	9,540		4,788		
富士運動広場	野球	16,696	26,631	14,844	22,013	
	ソフトボール	6,169		3,104		
	その他	3,766		4,065		
富士山村広場	野球	7,206	13,672	7,244	13,620	
	ソフトボール	1,092		1,378		
	その他	5,374		4,998		
三瀬グラウンド	野球	2,204	6,859	2,346	4,749	
	ソフトボール	141		40		
	その他	4,514		2,363		
スポーツパーク川副多目的広場	野球	4,259	5,167	3,130	3,330	
	ソフトボール	248		0		
	その他	660		200		
川副運動広場	野球	3,343	8,389	3,512	8,395	
	ソフトボール	165		160		
	その他	4,881		4,723		
東与賀運動公園運動広場	野球	13,523	35,298	9,560	23,177	
	ソフトボール	869		722		
	その他	20,906		12,895		
久保田グラウンド 久保田補助グラウンド	野球	5,486	21,655	4,582	20,791	
	ソフトボール	515		658		
	その他	15,654		15,551		

テ	施設名	区分	27年度		28年度	
			人数	計	人数	計
ニ	市立テニスコート	個人利用	35,759	52,893	38,096	52,306
		団体利用	17,134		14,210	
ス	諸富公園テニスコート	個人利用	4,839	4,839	5,042	5,042
		団体利用	0		0	
コ	大和中央公園テニスコート	個人利用	5,937	11,749	5,780	10,511
		団体利用	5,812		4,731	
ト	春日運動広場テニスコート	個人利用	1,286	28,652	1,348	26,738
		団体利用	27,366		25,390	
	東与賀運動公園テニスコート	個人利用	3,782	8,263	0	7,342
		団体利用	4,481		7,342	
	施設名	区分	27年度		28年度	
			人数	計	人数	計
武	市立弓道場	個人利用	2,050	7,452	2,942	7,758
		団体利用	5,402		4,816	
道	諸富文化体育館多目的室	個人利用	0	7,420	0	5,467
		団体利用	7,420		5,467	
館	スポーツパーク川副武道館	個人利用	373	14,806	352	10,710
		団体利用	14,433		10,358	
	富士運動広場屋内練習場	個人利用	0	221	0	279
		団体利用	221		279	
	スポーツパーク川副トレーニングハウス	バラエティールーム	9,172	11,745	8,438	8,881
		ミーティングルーム	2,573		443	
	東与賀運動公園スポーツルーム	個人利用	0	6,503	0	5,135
		団体利用	6,503		5,135	
	市立体育館トレーニング室	個人利用	11,995	11,995	12,720	11,995
	諸富文化体育館トレーニング室	個人利用	6,858	6,858	7,605	6,858
	スポーツパーク川副トレーニングルーム	個人利用	3,777	3,777	3,871	3,777
	三瀬プール	個人利用	751	1,824	706	2,521
		団体利用	1,073		1,815	
	スポーツパーク川副市民プール	個人利用	446	2,827	386	2,313
		団体利用	2,381		1,927	

## 8 佐賀市健康運動センター 3-4

### (1) 施設の設置

佐賀市では、運動を中心とした活動や交流を通じて、市民の健康増進及びスポーツの推進に寄与するため、佐賀市健康運動センターを設置している。

### (2) 施設の概要

- ① 所在地 佐賀市高木瀬町大字長瀬 2553 番地 (Tel 36-9309)
- ② 敷地面積 90,575.45 m<sup>2</sup> (サッカー・ラグビー場 30,604 m<sup>2</sup>を含む)
- ③ 延床面積 5,201.01 m<sup>2</sup>
  - ※ 健康運動館 4,769.23 m<sup>2</sup> (1階 4,529.18 m<sup>2</sup>、地下 240.05 m<sup>2</sup>)
  - ※ サッカー・ラグビー場管理棟 431.78 m<sup>2</sup>
- ④ 総事業費 『健康運動館・多目的グラウンド』 27 億 9500 万円 (用地費含む)  
(地域総合整備事業債〈ふるさとづくり事業〉)  
『サッカー・ラグビー場』 10 億 4100 万円 (用地費含む)  
(緊急防災・減災事業債等)
- ⑤ 施設内容 『健康運動館』  
温水プール (25m、可動床、子ども用、ジャグジー)、トレーニングルーム (各種トレーニング機器有)、スタジオ、入浴施設、更衣室、管理室、多目的室  
『多目的グラウンド』  
グラウンド(夜間照明設置)、ウォーキングコース (2 コース)  
『サッカー・ラグビー場』  
天然芝グラウンド 1 面、人工芝グラウンド 1 面 (夜間照明設置)、管理棟 (ミーティング室、シャワー室有)  
『駐車場』  
健康運動館南側駐車場 (203 台: 多目的駐車場 8 台を含む)  
サッカー・ラグビー場駐車場 (124 台: 多目的駐車場 4 台を含む)
- ⑥ 竣工 平成 16 年 5 月 10 日 (建設期間 平成 13~15 年度の継続事業)
  - ※ サッカー・ラグビー場は、平成 26 年 3 月 31 日 (平成 24~25 年度の継続事業)
- ⑦ 供用日 平成 16 年 5 月 11 日
  - ※ サッカー・ラグビー場は、平成 26 年 4 月 5 日
- ⑧ 特徴 敷地北西側に位置する佐賀市環境センター (焼却炉) の余熱利用施設
  - ※ サッカー・ラグビー場を除く

### (3) 利用時間

午前 9 時から午後 9 時まで (平日有料エリアは午後 9 時 30 分まで延長)

- ① 多目的グラウンド 4 月 1 日~10 月 31 日 午前 6 時から午後 9 時まで  
11 月 1 日~ 3 月 31 日 午前 7 時から午後 9 時まで

② サッカー・ラグビー場

ア 天然芝グラウンド 火、水曜日 5月～8月 午後3時から午後7時まで  
 4月、9月 午後2時から午後6時まで  
 10月～3月 午後1時から午後5時まで  
 土、日曜日 午前9時から午後5時まで

※ 天然芝グラウンドの利用時間については、1日原則4時間

イ 人工芝グラウンド及び管理棟 午前9時から午後9時まで

(4) 休館日

毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

(5) 管理運営

佐賀市で指定管理者制度を導入した最初の施設であり、現在は3期目の指定期間（平成26～30年度）を迎えている。指定管理者は運動指導や施設管理に関して専門的な能力を有するサガン・ドリームス／健康科学研究所／古賀商事グループを指定し、施設の管理運営の全般を任せている。

(6) 有料エリアの利用実績

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
営業日数	310	309	311	309	310
幼児	7,213	6,887	6,593	6,329	6,717
小中学生	13,983	14,998	14,843	15,046	14,790
大人	80,150	81,413	80,340	79,456	79,673
65歳以上	49,905	52,601	59,905	64,334	69,257
しょうがい者・介助者	18,345	20,183	21,476	22,248	22,986
総利用者	169,596	176,082	183,157	187,413	193,423

※ 有料エリアは、プール、トレーニング室、スタジオ等の個人の利用料金が設定されたエリア

(7) 多目的グラウンドの利用実績

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件数	710	707	598	722	723
人数	57,622	55,281	32,456	34,889	46,648

(8) 多目的室の利用実績

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件数	185	259	156	160	167
人数	2,019	3,160	2,085	1,540	1,742

(9) サッカー・ラグビー場（人工芝、天然芝）の利用実績

施設名	平成 27 年度		平成 28 年度	
	件数	人数	件数	人数
人工芝グラウンド	594	46,135	671	54,035
天然芝グラウンド	92	13,182	102	13,920

※天然芝グラウンドは平成 26 年 8 月から供用開始

## 9 未来につなげる文化の振興 5-6

### (1) 文化財の保存・整備と活用

#### ① 文化財の調査

##### ア 歴史の調査

一般文化財を含んだ歴史的な事柄について様々な調査を行う。文化財指定を行うための基礎的な調査をはじめ、市民からの歴史的な事柄の問い合わせに対する調査・回答なども行う。

##### イ 埋蔵文化財発掘調査

埋蔵文化財の保存整備や記録保存を目的として、開発事業に先立って調査を行う。現地調査終了後は、出土遺物や作成した記録類の整理・分析調査を行った上で、発掘調査報告書を刊行し、研究や学習教材として資料を提供する。

また、市内で行われる開発に先立ち、埋蔵文化財の確認調査を行い、開発と文化財保護との調整を図っている。

平成 28 年度実施事業	内 容
市内遺跡発掘調査	市内で行われる開発行為に先立ち、開発対象地内で埋蔵文化財の有無、内容を確認する調査を実施した。（確認調査実施件数：190 件）
出土遺物保存処理事業	東名遺跡から出土した遺物について、保存処理を実施した。
東名遺跡出土遺物整理事業	遺跡から出土した遺物の選別整理及び台帳作成作業を実施した。
鍋島東部発掘調査	鍋島東部地区ほ場整備事業に伴う発掘調査を実施した。
久保泉工業団地発掘調査	久保泉工業団地発掘調査に伴う記録資料の整理・報告書作成を実施した。
佐賀城関係歴史文献調査	佐賀城関係歴史文献の調査・報告書作成を実施した。
佐賀城西堀発掘調査	県が実施する佐賀城西堀石垣護岸修復事業に伴う発掘調査を実施した。
佐賀城東堀発掘調査	県が実施する佐賀城公園整備事業に伴う発掘調査を実施した。
県道外環状線発掘調査	県道佐賀外環状線建設に伴う記録資料の整理・報告書作成を実施した。
県警佐賀南警察署建設に伴う発掘調査	佐賀県警佐賀南警察署建設に伴う発掘調査を実施した。

平成 28 年度実施事業	内 容
民間開発事業に伴う緊急発掘調査	緊急的に発生する小規模な民間開発事業に伴う発掘調査及び整理・報告書作成を実施した。

ウ 歴史的建造物の調査

市内に所在する歴史的建造物で、解体計画にあるものの中から、建築史的に特に重要と判断される建造物について、調査を行い、記録保存を図る。

エ 世界遺産関連事業

史跡三重津海軍所跡は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つとして、平成 27 年 7 月 8 日にドイツで行われた世界遺産委員会において世界遺産一覧表へ正式に記載された。今後は、史跡整備のため発掘調査を進めるとともに、市民に対しての情報発信や来訪者対策を行っていく。

② 文化財の保護

ア 文化財保護審議会の開催

文化財の保護や活用に関する重要事項について、佐賀市文化財保護審議会に諮って調査審議を行う。

イ 文化財の指定

現在佐賀市域には、国・県・市による指定文化財が多数所在している。

市指定文化財については、市内に残る歴史遺産の調査を行い、その中から重要なものを選び、佐賀市文化財保護審議会へ諮って指定し、恒久的な保存を図っている。

ウ 文化財の維持管理

指定文化財の所有者と協力しながら、維持管理に努めている。修理が必要な際には、佐賀市文化財保護条例に基づき、修理の一部を補助し、適切な保存を図っている。

埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物や寄贈された民具等に関しては、文化財資料館や富士文化財収蔵庫で保管している。また、市内に所在する指定された天然記念物の樹木については、より良い保存を図るため、樹勢調査を行っている。

③ 文化財の活用

ア 肥前国庁跡の活用

平成 17 年度に整備・建設が完了した、肥前国庁跡歴史公園や国庁跡資料館の企画展等によって歴史遺産の重要性を啓発し、文化財保護意識の高揚を図る。

イ 東名遺跡の活用

東名縄文館において東名遺跡から出土した遺物の展示を行っている。また、市内の小学 6 年生を対象に東名遺跡の発掘調査で実際に出土した遺物を活用した出前授業、体験学習として、小学生を対象とした貝輪づくりや一般対象の縄文編みかごワークショップを実施している。

ウ 歴史遺産の紹介

市内に所在する文化財について、その内容を各種講座で紹介している。

(2) 伝統文化の継承

各地域で伝統的に行われている地域文化活動を支援し、伝統文化の継承者育成や保存に

努める。

① 指定無形民俗文化財への支援

佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金により、国県市指定の無形民俗文化財への支援を行う。

② 未指定文化財等への支援

地域文化保存・継承支援補助金により、地域が主体となって担っている未指定の文化財等への支援を行う。

佐賀市所在主要指定文化財一覧

(1) 佐賀市指定文化財 [119件]

平成29年4月1日現在

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	絵画	1 絹本淡彩金立神社縁起図一幅	金立神社	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和47年2月11日
	絵画	2 絹本着彩与賀神社縁起図一幅	与賀神社	与賀町2番50号	昭和53年3月1日
	絵画	3 (高伝寺所蔵) 大涅槃像一幅	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和59年3月26日
	建造物	4 神野のお茶屋	佐賀市	神園四丁目1番地	昭和42年2月11日
	建造物	5 武家屋敷の門一棟	佐賀地方検察庁	中ノ小路3番14号	昭和46年2月11日
	建造物	6 佐賀(龍造寺)八幡宮石造肥前鳥居一基	龍造寺八幡神社	白山一丁目3番2号	昭和47年2月11日
	建造物	7 御位牌所一字 附一、木造阿弥陀如来坐像一軀 二、御位牌二〇二霊分	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和49年2月11日
	建造物	8 鐘楼一棟	真覚寺	伊勢町6番22号	昭和50年2月11日
	建造物	9 勝宿神社本殿一棟	勝宿神社	久保泉町大字川久保4199番地	昭和52年2月11日
	建造物	10 武家屋敷の門一棟	佐賀市	水ヶ江二丁目8番13号	昭和54年3月1日
	建造物	11 伊勢神社の石造肥前鳥居及び肥前狛犬像一対	伊勢神社	伊勢町9番8号	昭和57年3月1日
	建造物	12 武家屋敷の門一棟	佐賀市	八幡小路4番10号	昭和58年3月1日
	建造物	13 旧古賀銀行及び旧古賀家二棟	佐賀市	柳町2番9号、同3番15号	平成7年3月22日
	建造物	14 旧牛島家一棟	佐賀市	柳町4番9号	平成7年10月23日
	建造物	15 旧福田家住宅一棟	佐賀市	松原四丁目3番15号	平成10年5月26日
	建造物	16 旧三省銀行(付属棟含む)一棟	佐賀市	柳町3番12号	平成11年5月25日
	建造物	17 旧佐賀城本丸御座間・堪忍所	佐賀県	城内二丁目18番1号	平成13年2月20日
	建造物	18 旧嬉野家の武家屋敷の門(薬医門一棟)	佐賀市	佐賀市松原二丁目29	平成27年6月15日
	工芸品	19 石造六地藏一基	個人	嘉瀬町大字荻野2514番1	昭和49年2月11日
	工芸品	20 本庄神社石燈籠一対	本庄神社	本庄町大字本庄1156番地	昭和50年2月11日
	工芸品	21 石造六地藏二基	東善寺	鍋島町大字森田2030番地	昭和50年2月11日
	工芸品	22 石造六地藏六観音像一基	坪の上天満宮	高木瀬町大字長瀬字坪の上	昭和52年2月11日
	考古資料	23 上和泉遺跡出土瓦塔	佐賀市	大和町大字久池井2754 (肥前国庁跡資料館)	平成16年3月23日
	古文書	24 長尾山年譜	福満寺	北川副町大字江上345番地	昭和43年2月11日
	古文書	25 末代念仏授手印	大覚寺	伊勢町14番5号	昭和45年2月11日
	古文書	26 有田家文書九〇通	個人	城内二丁目1番41号 佐賀県立図書館	昭和49年2月11日
	古文書	27 上林家文書一〇五六通	個人	呉服元町5番18号	昭和59年3月26日
	書跡	28 大興寺所蔵大般若経一括	大興寺	神野東三丁目10番3号	昭和57年3月1日
	書跡	29 島義勇の旅日記一卷	個人	本庄町大字本庄8番地	昭和47年2月11日
	書跡	30 副島種臣の書二幅	願正寺	呉服元町6番5号	平成5年3月31日
	彫刻	31 石造十六羅漢像並びに石造釈迦三尊像付石造駒形標柱一九軀 付一基	岩松軒	木原一丁目12番10号	昭和48年2月11日
	彫刻	32 木造鍋島忠直坐像一軀	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和48年2月11日
	彫刻	33 石造十一面観世音菩薩立像一軀	個人	久保泉町大字川久保	昭和49年2月11日
	彫刻	34 銅造地藏菩薩立像一軀	西峰院地藏寺	多布施二丁目2番30号	昭和49年2月11日
	美術工芸	35 木彫毘沙門天立像	本行寺	西田代一丁目4番6号 本行寺	昭和43年2月11日
	美術工芸	36 鬼丸聖堂の聖像三体と天縦殿の額	鍋島報効会	松原二丁目5番22号	昭和45年2月11日
	美術工芸	37 不動明王立像一軀	清心院	大財二丁目4番5号	昭和46年2月11日
	歴史資料	38 多久安輝の墓誌	龍雲寺	八戸一丁目6番35号	昭和62年3月25日
	歴史資料	39 木造了意和尚像	静元寺	本庄町大字本庄799番地	平成5年3月31日
	歴史資料	40 木原隆忠の墓誌	大覚寺	伊勢町14番5号	平成5年3月31日
	歴史資料	41 赤松小学校の校務日誌(一括)	佐賀市教育委員会	中の館町1番39号 赤松小学校	平成7年10月23日

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
絵画	42	實相院絵画二幅	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成9年5月23日
建造物	43	與止日女神社三ノ鳥居一基	與止日女神社	大和町大字川上1	昭和58年10月17日
建造物	44	久留間六地藏一基	藏福寺	大和町大字久留間1224	昭和62年7月25日
工芸品	45	(四天社) 石造四天王像立像四軀、石造宝篋印塔一基・石塔残欠一個	池上地区	大和町大字池上1501	平成9年5月23日
考古資料	46	佐熊遺跡出土一括(鐔形土製品一個)	佐賀市	大和町大字尼寺1870	昭和62年7月25日
考古資料	47	本村籠遺跡310号土墳墓出土遺物一括(青磁碗二個、土師器小皿四個、刀子一口)	佐賀市	大和町大字尼寺1870	平成2年5月30日
考古資料	48	大願寺二本松遺跡出土一括(八花鏡一面、青銅製鉈尾)	佐賀市	大和町大字川上	平成3年5月29日
考古資料	49	尼寺一本松遺跡甕棺墓出土遺物(一括)	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成29年3月13日
彫刻	50	木造金剛力士像(仁王像)二軀	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成6年2月27日
彫刻	51	春日山高城寺仏像五軀	高城寺	大和町大字久池井3625-1 高城禪寺	平成8年3月5日
彫刻	52	實相院彫刻十二軀	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成9年5月23日
彫刻	53	神變社仏像一軀	神變社	大和町大字久留間3420-1 神變社	平成9年5月23日
彫刻	54	木造湛然梁重座像一軀	通天寺	大和町大字松瀬2142番地 通天寺	平成13年9月11日
絵画	55	涅槃図一幅	東光寺	諸富町大字徳富1936番地 東光寺	昭和57年4月1日
建造物	56	肥前鳥居	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
建造物	57	肥前鳥居一基	若宮神社	諸富町大字徳富1201番地 若宮神社	昭和54年6月30日
工芸品	58	太田神社肥前狛犬一對	太田神社	諸富町大字大堂1663番地 太田神社	昭和57年4月1日
工芸品	59	大黒天坐像	宝光院	諸富町大字大堂1363番地 宝光院	昭和57年4月1日
工芸品	60	道祖神「なんじゃもんじゃさん」(一對)	安龍寺	諸富町大字為重1586番地口 安龍寺	昭和57年4月1日
工芸品	61	銅造弁財天坐像	安龍寺	諸富町大字為重1586番地口 安龍寺	昭和57年4月1日
工芸品	62	一石五輪塔	多聞院	諸富町大字為重873番地 多聞院	昭和57年4月1日
工芸品	63	六地藏2基(一對)	多聞院	諸富町大字為重873番地 多聞院	昭和57年4月1日
工芸品	64	天女絵柄半鐘一口	東光寺	諸富町大字徳富1936番地 東光寺	昭和57年4月1日
彫刻	65	一木七仏薬師如来立像一軀	東光寺	諸富町大字徳富1936番地 東光寺	昭和57年4月1日
彫刻	66	木造阿弥陀如来立像	光専寺	諸富町大字寺井津436番地 光専寺	昭和57年4月1日
彫刻	67	木造不動明王坐像	宝光院	諸富町大字大堂1363番地 宝光院	昭和57年4月1日
彫刻	68	木造阿弥陀如来坐像	個人	諸富町大字大堂1141番地 土師公民館	昭和57年4月1日
建造物	69	神代勝利公の墓一基(石造宝篋印塔)	宗源院	富士町大字関屋 宗源院墓地	平成10年5月27日
彫刻	70	大串社(櫛田神社)の肥前狛犬一對	大串社	富士町大字大串三本松 大串社	平成10年11月26日
石造物	71	香椎神社肥前鳥居一基	香椎神社	久保田町大字徳万1550	平成14年1月21日
重要無形文化財	1	ガラス工芸技術(宙吹き等)	個人	道祖元町106番地	平成5年3月31日
重要無形民俗文化財	1	小松の浮立	小松浮立保存会	蓮池町大字小松	昭和42年2月11日
	2	浮立玄蕃一流	掘江神社	神野西二丁目2番	昭和43年2月11日
	3	高木八幡ねじり浮立	高木八幡ねじり浮立保存会	高木瀬東二丁目12番8号 高木八幡宮	平成20年11月12日
	4	太田の浮立	諸富町無形文化財保存会	諸富町大字大堂1663番地の1	昭和63年3月1日
	5	海童神社奉納浮立	南川副浮立保存会	川副町大字犬井道	昭和56年12月15日
	6	松枝神社奉納浮立	大詫間浮立会	川副町大字大詫間	昭和56年12月15日
	7	東与賀銭太鼓	東与賀銭太鼓を育てる会	東与賀町大字田中	平成19年9月26日
	8	快万浮立	快万浮立保存会	久保田町快万	平成19年9月27日

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要有形民俗文化財	1	堀江神社神像群	堀江神社	城内一丁目15番23号佐賀県立博物館 (19. 8. 27)	昭和42年2月11日
	2	石造えびす須坐像一躯	西の宮社	北川副町大字光法字角町	昭和44年2月11日
	3	木彫彩色婦人坐像（観世音胎内仏一躯）	慈音院	久保泉町大字川久保	昭和44年2月11日
	4	旧城下町の道標（1基）	長瀬町自治会	長瀬町5番54号地先	昭和46年2月11日
	5	木造河童像一躯	宗眼寺	蓮池町大字蓮池386番地1	昭和52年2月11日
	6	虫供養塔一基	個人	嘉瀬町大字扇町	昭和55年3月1日
	7	石造恵比須半跏像一躯	相応下自治会	西与賀町大字相応相応下	平成7年10月23日
	8	有蓋類形板碑（鳥獣供養塔）	杉神社	三瀬村杉神社	昭和49年8月22日
	9	六尊六地藏塔	詰瀬地区	三瀬村詰瀬	昭和49年8月22日
	10	鳥類供養塔	個人	川副町大字福富（米納津）	昭和63年5月14日
史跡	1	築地反射炉跡	鍋島報効会	長瀬町9番 日新小学校校庭	昭和42年2月11日
	2	葉隠発祥の地	佐賀市	金立町大字金立字黒土原	昭和42年2月11日
	3	鍋島直茂誕生地	鍋島報効会	本庄町大字本庄836番地2	昭和42年2月11日
	4	高伝寺墓所	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和42年2月11日
	5	龍造寺隆信誕生地	佐賀市	中の館町7番	昭和43年2月11日
	6	万部塔と六地藏	鍋島報効会	水ヶ江一丁目7番9号（万部島）	昭和43年2月11日
	7	金立神社上宮	金立神社	金立町大字金立	昭和48年2月11日
	8	初代肥前国忠吉の墓地	真覚寺	伊勢町6番22号 真覚寺	昭和48年2月11日
	9	鍋島家発祥の地 御館の森	蠣久天満宮	鍋島町大字鍋島	昭和56年3月1日
	10	高麗人の墓碑・逆修碑	佐賀市	金立町大字金立3101番地	昭和60年12月12日
	11	乱斗山古墳群	松尾学園	金立町大字金立字六本黒木1544番地 353内	平成5年3月31日
	12	導善寺前方後古墳	池上地区	大和町大字池上1339-1他	昭和58年10月17日
	13	華藏庵跡	通天寺	大和町大字松瀬2988番地3	昭和62年7月25日
	14	肥前国分寺跡	宗龍寺	大和町大字尼寺958 宗龍寺	平成2年5月30日
	15	大野代官所	大野地区	富士町大字大野字一本松	平成14年6月24日
	16	燈堂	佐賀市	川副町大字犬井道4357番地6	昭和60年2月25日
	17	比荷大明神	佐賀市	川副町大字小々森254番地	昭和60年2月25日
天然記念物	1	国相寺の楠一株	国相寺	愛敬町4番54号	昭和44年2月11日
	2	牛島神社の楠一株	牛島神社	東佐賀町15番30号	昭和53年3月1日
	3	大小野の石楠花一株	個人	金立町大字金立字大小野	昭和54年3月1日
	4	高伝寺の梅一株	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	昭和55年3月1日
	5	日枝神社の楠一株	日枝神社	木原一丁目8番35号	昭和58年3月1日
	6	浄円寺のイチョウ一株	浄円寺	金立町大字千布2336番地	平成7年3月22日
	7	新北神社ビャクシン	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
	8	楠木No. 1	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
	9	楠木No. 2	新北神社	諸富町大字為重1073番地 新北神社	昭和54年6月30日
	10	えの木No. 1	個人	個人宅	昭和54年6月30日
	11	大堂神社楠No. 1	大堂神社	諸富町大字大堂 大堂神社	昭和54年6月30日
	12	大堂神社楠No. 2	大堂神社	諸富町大字大堂 大堂神社	昭和54年6月30日

## (2)佐賀県指定文化財 [68件]

文化財の区分	番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	絵画	1 紙本着色福満寺古図一幅	福満寺	北川副町大字江上345番地	昭和51年2月25日
	絵画	2 釈迦・迦葉・阿難図 狩野探幽筆	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	平成9年5月9日
	絵画	3 山水図襖谷文晁筆十二面	個人	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成10年5月11日
	絵画	4 矢調べ岡田三郎助筆一面	佐賀県立美術館	城内一丁目15番23号 佐賀県立美術館	平成10年5月11日
	絵画	5 紙本着色龍造寺隆信像一幅	宗龍寺	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成7年5月26日
	絵画	6 マンドリンを持つ少女 百武兼行筆 一面	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立美術館	平成9年5月9日
	建造物	7 本庄神社石造肥前鳥居一基	本庄神社	本庄町大字本庄1156番地	昭和39年5月23日
	建造物	8 高伝寺釈迦堂	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	平成12年4月28日
	工芸品	9 短刀一口（肥前国住藤原忠寛永八年八月日の銘あり）	佐嘉神社	松原二丁目10番	昭和42年4月22日
	工芸品	10 薙刀一口（銘 表 貞治元年十二月日、裏 備前長船政光）	個人	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和51年2月25日
	工芸品	11 太刀 国行朱銘 1口	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和59年3月21日
	工芸品	12 太刀 来国光朱銘 1口	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和59年3月21日
	工芸品	13 刀 銘 肥前国住藤原忠広 寛永七年八月吉日 1口	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和48年4月23日
	工芸品	14 刀 長巻なおし 銘 正平十口肥州末貞	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和54年3月31日
	工芸品	15 色絵椿文輪花大皿二枚	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成13年2月28日
	工芸品	16 色絵（流水文碗（台付）、瑠璃地桜花散らし文碗（台付））二組	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成13年2月28日
	工芸品	17 蒸気車雛形 附貨車他 1台	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成17年3月30日
	工芸品	18 蒸気船雛形（外輪船） 1隻	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成17年3月30日
	工芸品	19 蒸気船雛形（スクルー船） 1隻	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成17年3月30日
	工芸品	20 青漆塗萌黄糸威二枚銅具足	鍋島報効会	松原二丁目5番23号 鍋島報効会	平成22年3月12日
	考古資料	21 関行丸古墳出土遺物	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和48年4月23日
	考古資料	22 花納丸古墳出土遺物 附花納丸古墳出土遺物の記録	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和56年3月16日
	考古資料	23 丸山遺跡一・二・六・七号墳石室四基及び出土遺物一括	佐賀市	（石室）金立町大字金立（遺物）城内一丁目15番23号	昭和59年3月21日
	考古資料	24 丸山遺跡三号墳舟形石棺	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成3年3月30日
	考古資料	25 西原古墳出土石製表飾遺物一個	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成4年5月27日
	考古資料	26 鍋島本村南遺跡出土遺物一括 細形銅剣・細形銅戈鋳型・石製把頭飾 各一個	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成4年5月27日
	考古資料	27 増田遺跡甕棺墓出土多鈕細文鏡一面	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成13年2月28日
	古文書	28 泰長院文書一二巻一〇五通	泰長院	与賀町精	昭和59年3月21日
	古文書	29 正法寺文書	正法寺	城内二丁目1番41号 佐賀県立図書館	昭和61年3月19日
	古文書	30 深江家文書	個人	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和62年3月16日
	彫刻	31 大日如来坐像一軀	妙福寺	久保泉町大字川久保4365番地	平成20年3月14日
	書跡	32 正法寺所蔵般若經一括	正法寺	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和49年2月25日
	書跡	33 紺紙金字法華經七卷	高伝寺	本庄町大字本庄1112番地1	平成8年5月29日
	書跡	34 紺紙金字法華經七帖	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成8年5月29日
	書跡	35 紺紙銀字法華經八帖	鍋島報効会	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成10年5月11日
	絵画	36 絹本着色普賢延命菩薩騎象像一幅	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	昭和50年2月24日
	建造物	37 實相院仁王門一棟	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	昭和55年3月21日
	建造物	38 與止日女神社西門一棟	與止日女神社	大和町大字川上1番地1 與止日女神社	昭和61年3月19日
	工芸品	39 水上懸仏一面	水上地区	佐賀県立博物館（寄託）	昭和28年11月3日
	工芸品	40 戒体箱（一合）及び説相箱（二口）・如意（一柄）	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	昭和49年2月25日 （追加：平成9年5月9日）

文化財の区分		番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	考古資料	41	銅戈一口	個人	佐賀県立博物館(寄託)	昭和52年3月11日
	考古資料	42	西山田二本松遺跡2号住居跡出土銅釘一点	佐賀県教育委員会	佐賀市城内一丁目 佐賀県	昭和62年3月16日
	考古資料	43	惣座遺跡出土遺物一括 (銀製指輪、銅剣銅矛の鋳型、ガラス製小玉)(附) 弥生土器一点	佐賀市	大和町大字尼寺1870 大和町	平成2年3月30日
	考古資料	44	本村籠遺跡出土遺物一括(多鈕細文鏡、 鉈、管玉、斧)(附)甕棺二基	佐賀市	大和町大字尼寺1870 大和町	平成5年3月31日
	考古資料	45	一本木遺跡出土湖州鏡 (附) 鑑子、土師器杯・土師器皿	佐賀市	大和町大字尼寺1870 大和町	平成10年5月11日
	古文書	46	高城寺文書百通	高城寺	佐賀県立博物館(寄託)	昭和61年3月19日
	彫刻	47	無著妙融像一軀	玉林寺	大和町大字久池井3257 玉林寺	平成13年2月28日
	考古資料	48	十三塚遺跡出土鏡	佐賀県立博物館	佐賀県立博物館(寄託)	平成18年3月31日
	建造物	49	銅造明神鳥居 (寛永十七年二月十五日建)	大堂神社	諸富町大字大堂695番地 大堂神社	昭和46年6月23日
	考古資料	50	石塚一号墳出土遺物	佐賀市	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成8年5月29日
	彫刻	51	葉師如来立像	中原区	富士町大字中原 中原葉師堂	平成15年3月10日
	工芸品	52	木造阿弥陀如来坐像	三学寺	県立博物館(寄託)	昭和53年3月20日
	建造物	53	香椎神社四脚門	香椎神社	久保田町大字徳万1550	大正12年3月7日
	考古資料	54	牟田寄遺跡出土銅印	佐賀市	大和町大字久池井2754 (肥前国庁跡資料館)	平成24年4月27日
	考古資料	55	牟田寄遺跡出土土骨	佐賀市	本庄町本庄1121番地 佐賀市文化財資料館	平成24年4月27日
考古資料	56	地蔵平遺跡出土土器47点	佐賀県	佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県教育委員会	平成25年4月30日	
重要無形文化財	1	名尾手漉和紙(谷口 進)	個人	大和町大字名尾4754	昭和57年3月19日	
重要有形民俗文化財	1	大堂神社奉納北前型弁財船模型	県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成10年5月11日	
	2	佐賀県内農耕生活用具 512点	佐賀県農業試験センター	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和52年3月11日	
重要無形民俗文化財	1	三重の獅子舞	諸富町無形文化財保存会	諸富町大字為三重 新北神社	昭和39年5月23日	
	2	市川の天衝舞浮立	市川の天衝舞浮立保存会	富士町大字市川	昭和40年7月23日	
史跡	1	関行丸古墳	個人	久保泉町大字川久保4097番地	昭和47年3月29日	
	2	佐賀城跡	佐賀市	城内	平成13年2月28日	
	3	船塚	国・佐賀市	大和町大字久留間字東	昭和28年11月3日	
	4	大願寺廃寺跡	五社明神社	大和町大字川上字大願寺	昭和33年1月23日	
	5	小隈山古墳	個人	大和町大字川上2691-1他	平成9年5月9日	
天然記念物	1	佐嘉城址の楠(群)	佐賀県	城内	昭和28年11月3日	
	2	与賀神社の楠一株	与賀神社	与賀町2番50号	昭和40年7月23日	

## (3) 国指定文化財 [32件]

文化財の区分		番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
国宝	書跡	1	催馬楽譜	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和27年11月22日
重要文化財	建造物	1	与賀神社楼門一棟	与賀神社	与賀町2番50号	昭和25年8月29日
	建造物	2	佐賀城跡の門及び続櫓一棟	佐賀市	城内二丁目	昭和32年6月18日
	建造物	3	与賀神社三の鳥居及び石橋二基	与賀神社	与賀町2番50号	昭和45年6月17日
	工芸品	4	太刀一口銘康伝康光	与賀神社	与賀町2番50号	昭和25年8月29日
	考古資料	5	熊本山出土の舟形石棺とその一括遺物	佐賀市	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成元年6月12日
	古文書	6	深堀家文書三八六通	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和56年7月2日
	古文書	7	松浦山代家文書	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和56年7月2日
	書跡	8	紙本墨書東遊歌神楽歌	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	昭和9年1月30日
	彫刻	9	木造普賢延命菩薩騎象像一軀	龍田寺	久保泉町大字上和泉	昭和32年2月19日
	工芸品	10	銅鐘一口	健福寺	大和町大字川上3881 健福寺	昭和25年8月29日
文化財の区分		番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
重要文化財	工芸品	11	金銅製宝塔一基	實相院	大和町大字川上949-2 實相院	平成9年6月30日
	考古資料	12	瓦経(築山経塚出土)二二九枚	佐賀市	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	平成11年6月7日
	古文書	13	河上神社文書二四七通	興止日女神社	佐賀県立図書館(寄託)	昭和55年6月6日
	彫刻	14	木造円鑑禪師座像一軀	高城寺	大和町大字久池井3625-1 高城寺	昭和25年8月29日
	建造物	15	旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)	佐賀市・大川市	諸富町大字諸富津	平成15年5月30日
	建造物	16	吉村家住宅	個人	富士町大字上無津呂字羽金	昭和49年2月5日
	建造物	17	山口家住宅	個人	川副町大字大詫間930番地	昭和49年2月5日
	工芸品	18	色絵山水竹鳥文輪花大皿 鍋島1枚 (附指定)色絵山水竹鳥文輪花大皿 景德鎮	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成25年6月19日
重要有形民俗文化財	1	有明海漁撈具 293点	佐賀県立博物館	城内一丁目15番23号 佐賀県立博物館	昭和40年6月9日	
重要無形民俗文化財	1	白鬚神社の田楽	白鬚神社の田楽保存会	久保泉町大字川久保	平成12年12月27日	
	2	見島のカセドリ行事	加勢鳥保存会	蓮池町大字見島 熊野神社	平成15年2月20日	
史跡	1	帯隈山神籠石	佐賀市	久保泉町大字川久保	昭和26年6月9日	
	2	大隈重信旧宅	佐賀市	水ヶ江二丁目11番11号	昭和40年6月4日	
	3	西隈古墳	佐賀市	金立町大字金立2936番地5	昭和50年6月26日	
	4	銚子塚	佐賀市	金立町大字金立2355番地	昭和53年3月11日	
	5	肥前国庁跡	佐賀市	大和町大字久池井2738-2	平成元年9月22日	
	6	三重津海軍所跡	国・有明海漁協 佐賀市	川副町大字早津江 諸富町大字為重	平成25年3月27日	
	7	東名遺跡	佐賀市	金立町大字千布	平成28年10月3日	
天然記念物	1	カササギ生息地	佐賀県	佐賀平野一帯	大正12年3月7日	
	2	えひめあやめ自生南限地帯	佐賀市	久保泉町大字川久保	大正14年10月8日	
	3	下合瀬の大カツラ	佐賀市	富士町大字下合瀬字樋口	昭和37年5月16日	

## (4) 国登録文化財 [3件]

文化財の区分		番号	文化財名称	所有者及び管理者等	所在地	指定年月日
登録有形文化財	建造物	1	徴古館	鍋島報効会	松原二丁目5番22号 鍋島報効会	平成9年11月5日
	建造物	2	野中鳥屋園	個人	材木一丁目82番	平成12年2月15日
	建造物	3	与賀神社本殿・幣殿・拝殿	与賀神社	佐賀市与賀町92番	平成25年6月21日

### (3) 市民文化活動の創造

#### ① 文化連盟補助事業

市民文化祭等の文化連盟の活動を補助することで、市民が見て参加して、芸術文化に接する機会を増やすための支援を行い、市民生活の癒しや潤いに結びつけるための取り組みを行う。

#### ② 自主文化事業費補助事業

公益財団法人佐賀市文化振興財団が実施する自主文化事業に対し補助を行うことにより、市民に芸術文化の鑑賞や体験の機会を提供し、地域文化の活性化と文化振興を図る。

平成 28 年度実績	自主文化事業数	22 企画：31 公演
	入場者総数	11,244 人

#### ③ 市民芸術祭開催事業

佐賀市文化振興基本計画の重点事業の1つである「佐賀市民芸術祭」の開催を通して、佐賀市で活動する芸術団体・芸術家に発表の場を提供するとともに、市民が芸術を身近に感じ、親しむ機会を設け、全市が一体となった文化振興を図る。

平成 28 年度実績	入場者数	10,800 人
------------	------	----------

#### ④ 九州さが大衆文学賞補助事業

九州さが大衆文学賞委員会では、文化の向上と佐賀のイメージアップを目的として、九州を中心に全国から大衆文学作品を募集し、優秀な作品を表彰している。その事業に対し補助金として支援することにより地域文化の育成と佐賀のイメージアップを図る。

平成 28 年度実績	応募作品数	324 件
------------	-------	-------

### (4) 文化施設の運営・整備

#### ① 文化会館及び東与賀文化ホールの施設改修

利用者の快適性と安全性の確保のため、施設の改修や老朽化した設備の更新等を行う。

#### ② 文化会館管理運営委託事業

佐賀市の文化情報の発信基地として多様な文化事業を企画し、市民が文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、各種コンベンションの利用による広域的な人、物、情報交流を図ることを目的として佐賀市文化会館の管理運営及び文化事業の企画運営を委託する。  
(施設の詳細は後述)

#### ③ 東与賀文化ホール管理運営委託事業

市民に文化芸術に親しむ機会と多様な文化活動を行う場を提供することを目的として、東与賀文化ホールの管理運営及び文化事業の企画運営を委託する。(施設の詳細は後述)

#### ④ 山口亮一旧宅管理事業

江戸期の建築物といわれる、佐賀の美術界の振興に努めた山口亮一画伯の旧宅の保存・活用を図る。NPO法人に管理を委託し山口画伯の顕彰をはじめとする歴史・文化を題材としたイベント等を開催する。

# 10 佐賀市文化会館

## (1) 管理運営（平成 28 年度）

（指定管理者） 公益財団法人 佐賀市文化振興財団  
職 員 数 佐賀市文化会館 常務理事 1 事務局 8

## (2) 建物概要

- ① 佐賀市文化会館（Tel 32-3000）
- |      |  |
|------|--|
| 所在地  | 佐賀市日の出一丁目 21 番 10 号                          |
| 敷地面積 | 34,008.57 m <sup>2</sup>                     |
| 建築面積 | 9,702 m <sup>2</sup>                         |
| 構 造  | 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造<br>地上 4 階、地下 1 階 |
| 工 期  | 昭和 62 年 8 月～平成元年 7 月                         |
| 総事業費 | 76 億 4,000 万円                                |
| 開 館  | 平成元年 10 月 1 日                                |
- 大ホール（音楽を主とした多目的ホール）

収容人員	1,811 席（固定席 1,806、車椅子席 5）
舞 台	間口 20m、高さ 10m、奥行 18m
設 備	オーケストラピット、小迫り、音響反射板、残響可変装置、 楽屋 5 室、幼児室、グランドピアノ 2 台
  - 中ホール（演劇を主とした多目的ホール）

収容人員	814 席（固定席 808、車椅子席 6）
舞 台	間口 16m、高さ 8m、奥行 18m
設 備	大迫り、小迫り、音響反射板、楽屋 4 室、幼児室、 グランドピアノ 2 台、映写機
  - イベントホール（調光、音調設備を有する多目的な平土間ホール）

収容人員	立席 500 人、椅子のみ 400 人、机・椅子 300 人
面 積	492 m <sup>2</sup>
  - リハーサル室 204 m<sup>2</sup>
  - 練 習 室 第 1 練習室 135 m<sup>2</sup>、第 2 練習室 97 m<sup>2</sup>、第 3 練習室 63 m<sup>2</sup>
  - 大会議室 205 m<sup>2</sup> 収容人員 130 人
  - 小会議室 56 m<sup>2</sup> 収容人員 20 人
  - 特別会議室 56 m<sup>2</sup> 収容人員 20 人
  - 和 室 30 畳 収容人員 30 人（机・椅子の場合）
  - 駐 車 場 普通車 500 台（身体障がい者用 7 台含む）
  - 喫茶・レストラン 80 席

### (3) 平成 28 年度施設別利用状況

#### ① 催物別利用状況

単位 (件)

	大ホール	中ホール	イベント
音 楽	63	58	6
講 演 ・ 大 会	53	81	82
演 劇	13	21	0
舞 踏 ・ 芸 能	9	12	0
展 示 そ の 他	2	4	90
合 計	140	176	178

#### ② 施設利用率年度対比

単位 (%)

	27 年度	28 年度
大 ホ ー ル	78.5	81.94
中 ホ ー ル	77.8	85.00
イ ベ ン ト ホ ー ル	82.8	80.30
大 会 議 室	89.3	91.31
小 会 議 室	66.4	51.05
特 別 会 議 室	27.2	44.14
和 室	53.3	74.77
リ ハ ー サ ル 室	83.2	90.99
練 習 室 1	58.6	53.91
練 習 室 2	67.1	63.96
練 習 室 3	89.5	81.68
合 計	70.3	72.47

# 1 1 佐賀市立東与賀文化ホール（東与賀ふれあい館）

※ 図書館東与賀館との複合施設

## (1) 管理運営（平成 28 年度）

（指定管理者） 公益財団法人 佐賀市文化振興財団  
職 員 数 事務局 2

## (2) 建物概要

所在地 佐賀市東与賀町大字下古賀 1228 番地 3 (Tel 45-3939)  
敷地面積 4,092.64 m<sup>2</sup>  
建築面積 2,869.74 m<sup>2</sup>  
構 造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造  
地上 2 階  
工 期 平成 7 年 5 月～平成 8 年 3 月  
総事業費 13 億 7,800 万円  
開 館 平成 8 年 5 月

### ① 文化ホール

- 収容人員 500 席（車椅子席 2 席、母子席 4）
- 舞 台 間口 12m、高さ 6m、奥行 11.5m
- 設 備 音響反射板、グランドピアノ 1 台、16 ミリ映写機 1 台、  
スライド映写機 1 台
- 楽 屋 2 室（和室）
- その他 ホワイエ ミーティング室
- 駐 車 場 一般 195 台（身体障がい者用 5 台含む）※東与賀支所と共用

## (3) 平成 28 年度施設別利用状況

○ 施設利用年度対比 (単位：%・人)

	27 年度		28 年度	
	利用率	人 数	利用率	人 数
ホ ー ル	38.28	22,395	55.34	28,182
ミーティング室	49.58	1,852	62.38	4,759
控 室	35.75	50	46.20	1,618
ホ ワ イ エ	19.89	429	23.56	4,440
合 計	35.84	24,726	46.74	38,999